

第5次日出町総合計画

【 後期計画期間：2021年～2025年 】

令和7年度実施計画

令和7年4月

政策企画課

目 次

第1章 実施計画の概要

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画登載事業の説明
- 3 政策・施策の体系

第2章 令和7年度の重点施策

- 1 令和7年度の重点施策
- 2 令和7年度の新規・拡充事業

第3章 分野別実施計画

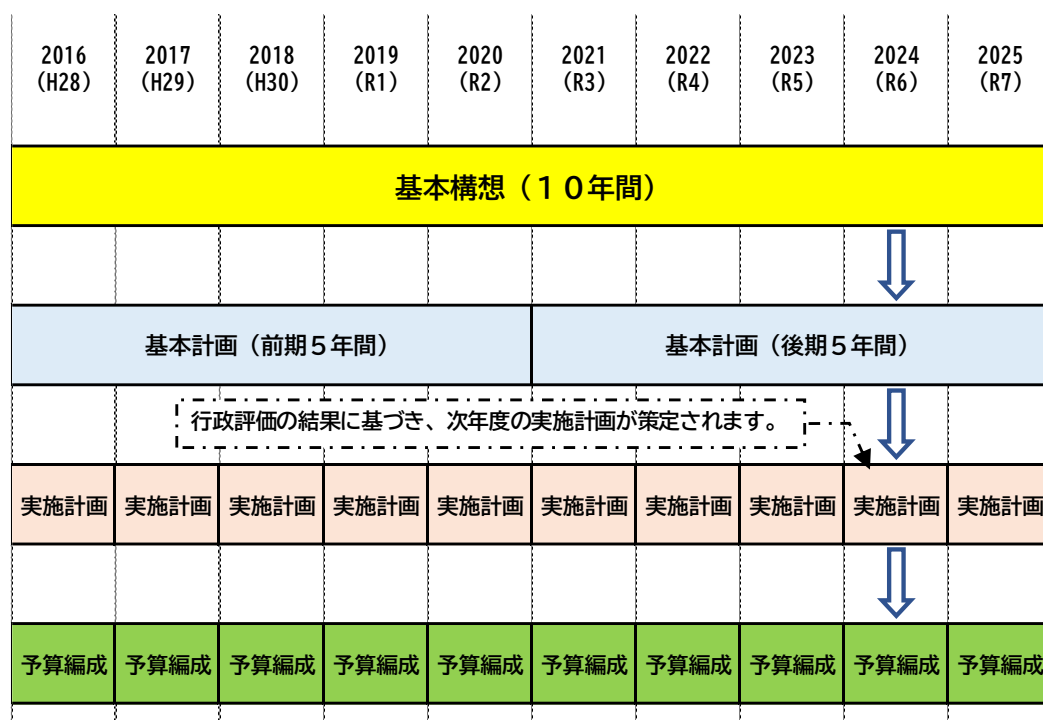
- 政策1【健康・福祉】健やかで安らかに暮らせるまちをつくる
- 政策2【教育・文化】未来に続く人と文化を育むまちをつくる
- 政策3【防災・防犯】安全・安心な生活を守るまちをつくる
- 政策4【産業振興】産業振興により活力あるまちをつくる
- 政策5【自然・生活環境】自然と都市機能が調和したまちをつくる
- 政策6【人権・協働】人のつながりを大切にするまちをつくる
- 政策7【行財政運営】生活に役立ち信頼される行政をつくる

第1章 実施計画の概要

1 計画策定の趣旨

この計画は、日出町総合計画に掲げる「住むことに喜びを感じるまち～安心して暮らせて活力が実感できるまちづくり～」の実現をめざし、基本構想、基本計画で体系化した施策を具体的に実施していくために策定するものです。

また、この計画は、日出町総合計画に定められた政策・施策を推進するために必要となる事務事業について、行政評価の結果を十分に踏まえて具体的に示すもので、毎年度の予算編成や事業実施の指針となるものです。



2 計画登載事業の説明

この計画の登載対象事業は、第5次日出町総合計画後期基本計画（2021～2025）に掲げている施策の基本方針に基づく主要な事業のうち、次に掲げる事務事業とします。

○政策的事業のうち、原則、すべてのソフト事業及び事業費500万円以上のハード事業で、且つ令和7年度も継続実施する事業、又は令和7年度に新規及び拡充実施する事業

注1）ソフト事業のうち義務的事業（法定業務や職員給与事務、選挙事務、内部管理事務など行政評価の対象とならない事業）は、本計画の対象外とします。

注2）令和7年度新規・拡充事業に関して、行政評価を経ていない事業は、やむを得ない場合を除き、予算要求はできません。

注3）計画登載事業であっても、財政状況等により、その実施を見直す場合もあります。

3 政策・施策の体系



第2章 令和7年度の重点施策

1 令和7年度の重点施策

令和6年度（令和5年度分）行政評価の評価結果を元として、総合計画の進捗に遅れが出ている施策、又は社会情勢等の急激な変化により浮き彫りとなった喫緊の課題に対応するための施策等に対して、予算や人員等の限られた経営資源を効率的及び効果的に適正配分することで、「夢と希望が溢れる日出町へ！そして日本一誇れる町へ！」の実現に向け、下表の施策を令和7年度の重点施策に位置付けることとします。

政 策	施 策	令和6年度行政評価結果等
1 健康・福祉	5 子育て支援の充実	行政評価結果「B」
2 教育・文化	4 芸術・文化・スポーツの推進	行政評価結果「C」
4 産業振興	5 企業誘致と雇用の創出	行政評価結果「D」 町民満足度「不満回答224件」
5 自然・生活環境	5 公共交通の充実	行政評価結果「B」 町民満足度「不満回答237件」
6 人権・協働	2 町民とともに創る 持続可能なまちづくり	行政評価結果「C」
7 行財政運営	2 持続可能な財政運営	行政評価結果「A」

（1）ふるさと納税のさらなる推進（持続可能な財政運営）

令和5年度ふるさと寄附金は、企業版ふるさと納税を含めて、9億円に到達し令和6年度に、ふるさと納税のさらなる推進を目的として、「ふるさと納税推進室」を新たに創設しました。

令和7年度は、子育て支援や福祉、地域振興の財源の確保のため、企業版ふるさと納税も含め、ふるさと寄附金総額10億円超を目指し、SNSを活用したまちの魅力発信により、関係人口の獲得・拡大を図り、プロモーションを拡充するとともに、返礼品となる地場産品をさらに掘り起こし、産業振興及び観光振興に繋げていきます。また、企業版ふるさと納税を通じて、官民連携の地方創生に取り組みます。

〔主な事業・取組み〕

○ ふるさと寄附金事業

○ 企業版ふるさと納税マッチング支援事業

(2) 子育て支援の充実

これまで認定子ども園・放課後児童クラブ等を整備し、待機児童の解消や子どもの安全な居場所づくりにより、子育て世帯の就労支援に取り組み、また、令和5年度より子ども医療費助成の対象を高校生まで拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むなど、若者・子育て世代に選ばれるまちづくりを進めてきました。

令和7年度は、「子育てするならやっぱり日出町！」を目指し、引き続き、子どもの安全な居場所づくりのために、放課後児童クラブの整備に取り組むとともに、出産・子育て応援給付金に上乗せして妊娠祝い金を支給するなど、若者が結婚、妊娠・出産、子育てをポジティブに捉え、子どもを生み育てていく希望を持てるように、子育て支援の充実に取り組めます。

[主な事業・取り組み]

- | | |
|------------------|---------------|
| ○ 子ども医療費助成事業 | ○ 妊婦のための支援事業 |
| ○ 地域子育て支援事業 | ○ 放課後児童健全育成事業 |
| ○ 子どもの居場所づくり推進事業 | |

(3) 公共交通の充実

将来にわたり、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、公共交通の充実が必要不可欠です。しかし、近年、利用者の減少や深刻な運転手不足等を背景に、民間バスの路線の改廃や便数の減少が続いており、交通不便地域が発生しています。そのため、令和5年度の「公共交通に満足している町民の割合」が48.2%と低い結果となっています。

令和7年度は、子どももお年寄りも障がいのある方も誰ひとり取り残さない社会の実現を目指し、タクシー利用補助等を含めて、コミュニティバス路線の拡充などを検討し、新たな公共交通の整備に取り組めます。

[主な事業・取り組み]

- コミュニティバス運用事業

(4) 企業誘致と雇用の創出

日出町の町内就業率は、平成27年47.2%（別府市70.8%、杵築市62.1%）、令和2年47.0%（別府市72.9%、杵築市62.0%）で、近隣市と比べ、かなり低い実態があります。人口減少対策や若者の流出対策としても、町内雇用の確保は喫緊の課題です。そのため、令和6年度から川崎工業団地造成事業にも着手し、時代に応じた多様で魅力ある企業誘致に取り組んでいます。

令和7年度は、新たな産業を創出し、誰もが豊かさを実感できるまちづくりを目指して、川崎工業団地や交通利便性が高い日出IC周辺も含め、継続して企業誘致を推進し、雇用の創出に取り組めます。

[主な事業・取り組み]

- | | |
|--------------|----------------|
| ○ 川崎工業団地造成事業 | ○ 川崎工業団地造成附帯事業 |
| ○ 企業立地推進事業 | ○ 立地意向調査委託事業 |

(5) 自然と歴史・文化の調和（芸術・文化・スポーツの推進）

これまで歴史資料館や鬼門櫓、致道館、的山荘等文化財遺産を保存・整備し、歴史・文化遺産を活かしたまちづくりに取り組んできました。また、令和4年度、令和5年度には、地域伝統芸能保存継承事業を実施し、大分県無形民俗文化財に指定されている辻間楽・津嶋神楽の保存継承にも取り組みました。歴史・文化遺産の適切な保存・継承・活用は、シビックプライドの醸成に繋がり、地域を活性化し、さらには、人口減少に歯止めをかけます。

令和7年度は、江戸時代前期の御茶屋・武家建築として極めて希少な建造物である「襟江亭」を適切に解体保存し、豊かな自然と歴史・文化の調和に取り組めます。

[主な事業・取り組み]

- 襟江亭保存活用事業

（６）地域脱炭素の推進（町民とともに創る持続可能なまちづくり）

地球温暖化は地球全体の環境に深刻な影響を及ぼすものであり、温室効果ガスの削減は全世界共通の課題です。国は、２０２０年１０月に、「２０５０年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、２０５０年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言しています。日出町においても、令和６年度に「日出町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、豊かな自然を次世代に引き継ぐとともに、地域課題を解決し、地域を活性化するために、地域脱炭素に取り組んでいます。

令和７年度は、公共施設等にＥＶ充電器を設置し、ＥＶ充電インフラを整備します。また、ＥＶ公用車をカーシェアリング運用することで、町と地元企業と住民が一体的に脱炭素に取り組むとともに、新たな観光振興等、地方創生に取り組めます。

〔主な事業・取り組み〕

○ＥＶカーシェアリング事業

○ＥＶチャージ整備事業

2 令和7年度の新規・拡充事業

(1) 重点施策における新規・拡充事業

※各事業の予算額は分野別実施計画に記載

体 系	事 業
1－5 子育て支援の充実 (子育て支援課)	【拡充事業】乳幼児健診・育児相談事業 妊婦健診に超音波検査、乳幼児健診に1か月児健診を追加する。
	【拡充事業】放課後児童健全育成事業 藤原地区放課後児童クラブの支援単位を1増設し、日出地区放課後児童クラブの施設を新築等、整備する。
	【新規事業】保育人材確保事業 保育士の負担軽減を目的として、保育支援者を配置する保育所及び認定こども園に対し、その費用の一部を補助する。
	【拡充事業】地域子育て支援事業 地域子育て支援センター「C&P さざんか」に新規委託する。
	【新規事業】妊娠時プレママ応援交付金事業 妊娠届出のあった妊婦を対象に、出産応援を目的とした給付金を支給する。
2－4 芸術・文化・ スポーツの推進 (社会教育課)	【新規事業】襟江亭保存活用事業 江戸時代前期の御茶屋・武家建築として極めて希少な建造物で、大神深江港に現存する襟江亭を解体保存する。
4－5 企業誘致と雇用の創出 (まちづくり推進課)	【拡充事業】企業立地推進事業 企業立地の促進を目的として、日出町企業立地促進条例に基づく製造業の新設・増設に必要な取得経費の助成を拡充する。
	【新規事業】立地意向調査委託事業 企業誘致を目的として、日本立地センターに業務委託し、企業に対し、立地意向を調査する。
	【新規事業】川崎工業団地造成附帯事業 川崎工業団地北側用地の造成にあたり、企業が参入した際の渋滞緩和策として町道東小深江線を拡張する。
6－2 町民とともに創る 持続可能なまちづくり (政策企画課)	【新規事業】EVカーシェアリング事業 2050年カーボンニュートラルの実現を目的として、EVチャージを整備し、EV公用車をカーシェアリングする。

(2) その他の新規・拡充事業

※各事業の予算額は分野別実施計画に記載

体 系	事 業
1－1 健康づくりの推進 (健康増進課)	【新規事業】食育推進プロジェクト「やさイト！」 健全な食生活の実践と地産地消の推進を目的として、食育推進プロジェクト「やさイト」を実施する。
	【新規事業】带状疱疹ワクチン接種事業 带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い接種助成を実施する。
	【拡充事業】保健対策推進事業 救急医療機関の受診の適正化と救急車の適切な利用を目的として、他の市町村と共同して「＃7119」コールセンターを実施する。
1－3 高齢者福祉の充実 (介護福祉課)	【拡充事業】老人福祉費 老人会事業補助金を拡充する。
2－2 教育環境の充実 (教育総務課)	【拡充事業】教育ＩＣＴ環境整備事業 教育用タブレットや教育ＩＣＴ関連設備を更新する。
2－3 生涯学習・社会教育 の推進 (社会教育課・図書館)	【新規事業】子ども会60周年記念事業 青少年健全育成を目的として、日出町子ども会育成会連絡協議会60周年記念事業を実施する。
3－1 防災・減災対策の推進 (総務課)	【拡充事業】安心・安全まちづくり事業 防災備蓄品の管理システムを導入し、適切な在庫の管理、入替を行う。また、防災備蓄品の棚卸作業、備蓄機材の動作確認等を行う。
	【拡充事業】防災関連事業 被災者台帳システムを更新する。
	【拡充事業】防災施設整備事業 大分県防災情報通信システムを更新する。
4－2 農林業の振興 (農林水産課)	【新規事業】新規就農者経営発展支援事業 新規就農者の確保を目的として、新規就農者に対し、機械・施設等の初期投資費用を補助する。
	【新規事業】おおいた園芸産地づくり支援事業 農業経営の効率化及び安定化を目的として、ハウスみかんファーマーズスクール受講者に対し、ビニールハウスを補助する。

	【新規事業】自給飼料基盤活用推進事業 新規畜産就農者の確保を目的として、新規畜産就農者に対し、牧柵や簡易牛舎等の整備に係る経費の一部を補助する。
4－3 水産業の振興 （農林水産課）	【拡充事業】水産振興費 新規漁業就業者の確保を目的として、新規漁業就業者に対し、独立経営開始型補助金を支給する。
	【新規事業】県営水産環境整備事業 大分県、日出町、杵築市、別府市、大分市で、別府湾地区における海底耕耘にかかる事業費を共同で負担する。
5－1 生活・自然環境の保全 （住民生活課）	【拡充事業】二酸化炭素排出抑制対策事業 公用車として電気自動車を購入する。
5－4 快適な都市機能の充実と 景観まちづくりの推進 （都市建設課）	【拡充事業】都市計画総務費 日常生活に必要な都市機能が維持された持続的でコンパクトなまちづくりの推進を目的として、立地適正化計画を策定する。
6－1 人権を尊重する 社会づくり （住民生活課）	【拡充事業】男女共同参画事業 日出町男女共同参画基本計画を改訂する。
7－1 効率的で効果的な 行政運営 （政策企画課・総務課）	【拡充事業】DX推進事業費 業務改善を目的として、ノーコード・ローコードツールを導入する。
	【拡充事業】大分都市広域圏連携事業 大分都市広域圏で共同運営している「おおいた公共施設案内・予約システム」を更新する。
	【拡充事業】日出町職員人材育成事業 大分県市町村振興協会研修助成金を活用し、「市町村アカデミー研修」をはじめとした職員研修を拡充する。
	【拡充事業】文書広報費 物価高騰による「町報ひじ」の印刷製本費を拡充する。

第3章 分野別実施計画

政策1【健康・福祉】 健やかで安らかに暮らせるまちをつくる

1-1 健康づくりの推進

担当課:健康増進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

町民一人ひとりが、住み慣れた地域でその人らしく健康に過ごすことができる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
お達者年齢	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳
自分が「とても健康」「まあまあ健康」と感じている町民の割合	80.0%

【指標の方向性】

保健、医療、福祉、教育等の多様な関係機関との連携を深めながら、一貫した保健サービスを総合的に展開することにより目標の達成をはかります。

■基本事業の取組方針

基本事業1-1-1 地域における健康づくりや食育の推進 重点P

【めざす姿】

高齢者だけでなく、すべての世代の町民が自分に合ったスポーツや健康づくりに関心をもち、実践されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数(年間)	340 人
地域や職域における普及啓発回数(年間)	30 回
20 歳の時の体重から 10 キロ以上増加している人の割合(削減目標)	33.0%

【指標の方向性】

地域や関係団体などと連携しウォーキングや栄養教室など、地域での健康づくりや食育推進の活動を通して、社会全体で健康づくりを支える取組や環境整備を支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
健康増進事業	継続	26,887千円
食育推進事業	継続	180千円

【令和 7 年度 取組方針】

次期日出町健康増進計画及び食育推進計画、自殺対策計画の周知及び普及啓発を行います。健康づくり推進協議会や運動普及推進員、食生活改善推進協議会の活動支援を通じて、町の健康づくりの取組を広げていきます。

基本事業 1-1-2 食育の連携強化**【めざす姿】**

「食」に関する知識と「食」を選択する能力を習得し、健全な食生活が実践されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
連携した関係部署や団体数(年間)	54 力所
食に関する普及啓発活動数(年間)	50 回

【指標の方向性】

多岐にわたる食育の取り組みは、関係部署や団体との連携を図り推進していきます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
食育推進プロジェクト「やさイト！」	新規	736千円

【令和 7 年度 取組方針】

ライフステージ別の食育推進の取組を検討し、普及啓発が効果的に実施できるような団体や組織等と連携を図る予定です。

基本事業 1-1-3 健診(検診)受診率の向上**【めざす姿】**

健康意識が高まり健診(検診)を受けている人の割合が増加している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
健診受診率向上施策の取り組み回数(年間)	46 回
過去 1 年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合	80.0%
特定健診受診率(国保)	45.0%

【指標の方向性】

関係機関と連携して健診(検診)の必要性を周知・啓発を図り、要注意者には保健指導など生活習慣改善に対する支援を行うことにより、達成を目指します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
がん検診推進事業	継続	822千円

【令和 7 年度 取組方針】

・年 1 回の健診(検診)受診の定着化を目指し、医療機関との連携を図りながら普及啓発を行います。

基本事業 1-1-4 生活習慣病予防対策の推進**【めざす姿】**

健全な生活習慣を持っている町民の割合が増加している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
生活習慣病予防教室開催数及び参加者数	50 人／回
特定保健指導実施率(国保)	54.0%
地域における健康相談実施数(年間)	21 回

【指標の方向性】

地域や関係機関と連携して広い取り組みを行うとともに、健康づくりに関する周知・啓発に取り組み、達成を目指します。生活習慣の改善により生活習慣病にならないための取り組みを図ります。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・データヘルス計画に沿って実施します。
- ・健康課題から生活習慣病予防教室の内容を検討し、実施します。
- ・国保加入者以外も方も対象とし、働き盛りの方へのアプローチ方法を検討します。
- ・健康経営事業所や商工会とも連携を図ります。

基本事業 1-1-5 こころの健康づくりの推進**【めざす姿】**

相談・支援体制が充実することで町民のこころの健康が保たれている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ゲートキーパー研修の受講者数(年間)	600 人
こころの相談会の利用者数(年間)	75 人

【指標の方向性】

・悩み事を抱える人に語りかけ相手の話を傾聴する「ゲートキーパー」を数多く養成するため、関係機

関との連携、周知啓発の推進によって目標達成を図ります。

・「こころの相談会」の定期開催に努め、併せて周知啓発に取り組むことで目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
自殺予防対策強化事業	継続	655千円

【令和 7 年度 取組方針】

自殺対策も含めた「こころの健康づくり」について町民やすべてのライフステージにかかる関係機関、庁内に広く周知し、取り組みを進めます。

基本事業 1-1-6 医療機関との連携強化

【めざす姿】

一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるよういつでも医療にかかれる体制が充実している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
「かかりつけ医」のいる町民の割合	80.0%
日出町健康課題連携会議の開催数(年間)	1 回

【指標の方向性】

・地域に密着し、健康について何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介することができる、かかりつけ医を持つことを引き続き啓発します。

・医療、介護ニーズを踏まえた効果的な健康づくりの推進を行うため、町内医療機関との連携を継続強化します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
高齢者予防接種事業	継続	17,034千円
带状疱疹ワクチン接種事業	新規	7,819千円
骨髄移植ドナー等支援事業	継続	140千円
保健対策推進事業	拡充	2,238千円

【令和 7 年度 取組方針】

健康課題連携会議を年に1回以上開催するとともに、いきいき日出町健康・食育プランの実践に向けて医師会の理解や協力を得られるよう医師会常会などで報告をします。医師会との連携は、庁内全体の課題でもあるため、各課、取り組みも進めながら、横の連携も図る体制を検討します。

基本事業 1-1-7 新たな健康リスクへの対応

【めざす姿】

新型コロナウイルス感染症のような新興感染症への対応のため町内医療機関との連携が図れている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町報、回覧、ホームページ等による町民への周知回数	3 回
健康教室の開催回数(年間)	6 回

【指標の方向性】

新型コロナウイルス等の感染症の発生予防と重度化の防止を図るため、正しい知識や情報の普及・提供に努めます。また、予防接種を推進し、接種率の向上を図ります。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・新型インフルエンザ等対策行動計画についての改定及び医師会をはじめとする関係機関との連携、庁内関係部署との共有等図っていきます。
- ・事業所や高齢者支援機関、住民生活課とも連携し、熱中症予防対策を実施します。

1-2 地域福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

全ての人が安心して、いきいきと生活できるよう、互いに助け合い支えあっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合	70.0%

【指標の方向性】

地域住民や民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の関係団体と連携し、地域で支え合うという意識や体制づくりの取り組みを充実させていきます。

■基本事業の取組方針

基本事業1-2-1 地域福祉の推進 優先

【めざす姿】

住み慣れた地域でいきいきと安心して生活できるよう、町民・地域・行政がそれぞれ連携して、助け合い、支え合いのある地域づくりが推進され、福祉意識の高揚や、福祉活動の担い手が育成されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ここ1年以内に地域活動やボランティア活動に「参加したことがある」と回答した町民の割合	70.0%
「広報ひじ」や「社協だより」での地域福祉啓発記事の掲載件数(年間)	広報ひじ 4 回 社協だより 4 回

【指標の方向性】

・地域での支え合いのしくみを推進するため、地域住民や民生委員・児童委員、社会福祉協議会と連携して取組を推進します。

・町民の福祉意識の高揚と担い手確保を念頭において、定期的に周知啓発を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
社会福祉協議会補助事業	継続	7,500千円

【令和 7 年度 取組方針】

令和 8 年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、社協へ一部を委託しながら、協働で

準備を進めることとしています。

基本事業1-2-2 支え合いの仕組みづくり

【めざす姿】

地域福祉の仕組みが整い、悩み事や困りごとを相談できるとともに、各種福祉サービスが受けられている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
包括的相談支援連携会議の開催回数(年間)	2 回
民生委員・児童委員の研修受講率(%)	100%
まちづくり協議会(地域運営自主組織)及び類似組織の設立数	6 団体
住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催回数(年間)	2 回
生活困窮者自立支援制度の周知回数(年間)	4 回

【指標の方向性】

- ・複雑化、複合化したニーズに対応する相談支援体制を整備するため、介護、障がい、子ども、生活困窮等、関係機関の連携体制構築に取り組みます。
- ・民生委員・児童委員に期待される役割等について必要な知識等が得られるよう、研修等によるスキルアップを図ります。
- ・子ども・子育て世代や高齢世代等の多様な主体が参画するまちづくり協議会の育成、同世代間・他世代間の互助をマッチングする仕組みの構築を図ります。
- ・住民見守りネットワーク参加団体で定期的に連絡会を開催し、情報共有と活動の連携を図ります。
- ・生活保護に至る前の早期支援を行うため、日出町生活困窮者等支援事業や生活困窮者自立支援制度の周知を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
多世代交流・支え合い活動推進事業	継続	1,500千円
包括的相談体制整備事業	継続	8,185千円
重層的支援体制整備事業	継続	7,841千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・重層的支援体制整備事業に関する庁内、庁外の関係者向け研修会を行います。
- ・重層の必須事業である地域づくり事業、参加支援事業の体制整備を行います。
- ・居住支援協議会の活動のさらなる周知や活発化を図ります。
- ・生活困窮をはじめ、地域福祉に関する周知を進めます。

基本事業1-2-3 災害時の支援体制

【めざす姿】

災害が発生し、又はそのおそれが高まったときに、高齢者や障がいのある人等要支援者の避難が迅速・的確に行われている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合	100%

【指標の方向性】

各地区で説明会、研修会の開催、関係機関と連携により目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
災害時要援護者管理システム事業	継続	1,120千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・個別避難計画未作成者に対し、計画作成の再度周知を行います。
- ・福祉避難所に関して協定の見直しを行います。
- ・福祉避難所開設や要支援者避難に関する訓練を行います。

1-3 高齢者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

住み慣れた土地で、生きがいを感じながら、安心して長寿を楽しむことができる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
要介護認定を受けていない 65 歳以上 75 歳未満の割合	96.5%
要介護認定を受けていない 75 歳以上の割合	70.9%
住民主体の地域活動団体数(累計)	70 団体

【指標の方向性】

- ・早い段階で、介護予防や健康づくりを意識してもらえるような働きかけを行うことで目標の達成を目指します。
- ・介護予防、健康づくりの取組と併せ、高齢になっても地域でいきいきと生活できるような基盤づくりを進めます。
- ・地域で主体的に介護予防や健康づくり活動を行う団体の新規設置及び活動支援により目標の達成を目指します。

■基本事業の取組方針

基本事業1-3-1 地域福祉の推進 優先

【めざす姿】

高齢者が地域で自立した生活ができるよう、介護予防に資する知識の普及啓発や、自主的な活動の育成・支援が進められ、元気な高齢者が増えている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
住民主体の地域活動団体数(累計)	70 団体
地域ケア会議開催回数(年間)	19 回
ほほえみ広場の参加者数(年間)	900 人
要介護認定率	16.9%
要介護等状態区分が維持または改善した者の割合	67.5%

【指標の方向性】

- ・地域で介護予防や健康づくりを行う介護予防教室等の新規設置や活動を支援し、目標達成を図ります。
- ・地域ケア会議を定期的に行い、医療と介護の連携を図り、自立支援・重度化防止を推進します。
- ・社協に委託して実施している高齢者サロンほほえみ広場の利用を促進し、元気な高齢者を増やします。
- ・生きがいづくりと介護予防を推進し、元気な高齢者を増やします。
- ・自立支援型のケアマネジメントを浸透させ、重度化を防止します。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・通いの場等が整備できていない地区に対し、引き続き設立を支援していきます。また通いの場等があっても、休止や縮小などの課題を抱えている地区に対し、有効なプログラムやツールを提供し、継続的に様子を伺う等支援していきます。
- ・C型げんき教室(短期集中型サービス)をより発展させ、持続的なものとなるように、包括支援センター及び委託事業所と連携を図ります。またフレイル状態にある高齢者を適切な時期に当該サービスに結びつけることにより、住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごせる体制づくりを目指します。

基本事業1-3-2 介護保険制度の持続

【めざす姿】

介護給付の適正化を推進し、介護保険外のボランティアなど地域の住民による支援を充実させることで、介護保険制度が持続可能な制度として維持されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
介護ボランティア養成者数(年間)	30 人
エプロン隊の活動回数(年間)	360 回
要介護認定の適正化にかかる調査員検討会開催回数(年間)	6 回
ケアプランの点検事業所数(年間)	7 事業所
実地指導を行った介護事業所数(年間)	5 事業所

【指標の方向性】

- ・高齢者の生活を支援する体制を確保するため、地域で高齢者を支える介護ボランティアを養成します。
- ・簡易な生活支援サービスである「エプロン隊」の周知に努め、介護保険によらない生活の手助けとして利用促進を図ります。
- ・認定調査員による調査結果のバラつきを防ぐため、調査項目等の検討会を定期的に行い、要介護認定の適正化を図ります。
- ・居宅介護支援事業所のケアプラン点検を強化し、不適切なケアマネジメント、介護報酬請求の是正

に努めます。

・町が指定する介護事業所に対し、3年に1回を目安に訪問指導を行い、運営・人員基準違反や不適切な介護報酬請求の是正に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

・社会福祉協議会が実施しているエプロン隊養成のためのミニボランティア講座・高齢者応援ボランティア養成講座を強化して行います。

・在宅介護支援事業所及び地域密着型事業所の運営指導を実施するとともに、ケアプラン点検も併せて実施します。

基本事業1-3-3 地域生活支援体制の整備

【めざす姿】

支援を必要とする高齢者が、多様なサービスや地域の支え合いにより生活できている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地域包括支援センターでの総合相談件数(年間)	250 件
緊急通報装置設置世帯数(累計)	270 世帯

【指標の方向性】

・高齢者に係る総合相談窓口としてサービスに関する情報提供や相談支援の充実に努めます。

・通報装置設置支援事業等ひとり暮らし高齢者等の事故の未然防止と孤独感の解消に向け、関係機関との連携を図ることによって取組を充実させます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
高齢者等見守り支援事業	継続	5,822千円
老人・身体障害者はり・きゅう助成事業	継続	87千円
在宅高齢者住宅改造助成事業	継続	1,200千円

【令和 7 年度 取組方針】

緊急通報装置の新型機種の周知を進め、利用者の拡大を図るとともに、旧型機種設置者へ新型機種切り替えを促進します。

基本事業1-3-4 生きがいづくりの推進

【めざす姿】

高齢者が気軽に外出できる環境をつくり、ボランティア、レクリエーション、就労、趣味等を通じて積極的な社会参加や生きがいづくりが促進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
企業訪問件数(再掲)	120 件
ボランティア講師登録者数(累計)	20 人

【指標の方向性】

- ・企業訪問による求人情報の調査、開拓に努めるとともに、シルバー人材センター等への支援により、高齢者の雇用促進を図ります。
- ・老人クラブ連合会等への支援及び連携を強化し、ボランティア講師制度の促進を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
老人福祉費(敬老会・長寿祝品事業)	拡充	19,088千円
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	継続	1,910千円
日出町シルバー人材センター支援事業【まちづくり推進課】	継続	6,036千円

【令和 7 年度 取組方針】

引き続き老人クラブへの補助、活動の支援を行います。また、クラブ数減少の対応策を、社協、老人クラブ連合会とともに検討していきます。

基本事業1-3-5 認知症高齢者支援対策の推進**【めざす姿】**

認知症に対する理解の促進と認知症高齢者を緩やかに見守る地域づくりが進められ、家族会など介護する家族への支援の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	1,500 人
認知症カフェ参加者数(年間)	300 人
認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数(累計)	45 機関

【指標の方向性】

- ・認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」の養成に取り組みます。
- ・認知症高齢者等が行方不明になった時の早期発見活動に協力していただく機関の統括に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・認知症になっても住み慣れた日出町で暮らすことができるよう、認知症についての正しい知識や対応を学ぶ機会を全世代対象に定期的に設けられるような体制を関係機関と連携して築いていきます。
- ・チームオレンジを立ち上げ、認知症当事者やその家族の思いに沿った支援を検討し、地域の見守り体制につなげていきます。

1-4 障がい者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

障がい者が安心して暮らし、地域社会の一員として自立できている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ち安心して生活できると感じる町民の割合	70.0%
就労支援サービス利用から一般就労への移行者数	10 人

【指標の方向性】

・障がいのある人が地域において安心して生活できるよう、障がいの特性に合わせた支援サービスの提供

や、相談支援体制の拡充等を図り、個々のニーズに応じた障がい者施策を推進します。

・幅広い職種への対応ができるよう就労移行支援事業の促進と併せ雇用機関との連携を強化し、福祉サイ

ドからの就労支援の強化を図るなど、障がいのある人の職業的自立と雇用の促進に努めます。

■基本事業の取組方針

基本事業1-4-1 地域生活支援の推進 優先

【めざす姿】

障がいの特性や能力に応じて適正な支援が受けられ、相談体制が充実し、日常生活が改善されている。また、身近な場所で安心して相談できるよう、自立支援協議会などの活性化に努め、家族に対する相談支援の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数(年間)	30 人
自立支援協議会地域生活支援部会開催回数(年間)	5 回
障害福祉サービス新規利用者数(年間)	50 人

【指標の方向性】

日出町障害者等基幹相談支援センターの研修体制の充実とあわせ、障がい者に関わる各機関のネットワークづくりを進めることで、要支援者の相談支援体制の充実と個々の障がいにあわせた適正な障害福祉サービス等の利用促進を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	継続	400千円
障害児通所支援利用促進事業	継続	552千円
軽度・中度聴覚障がい児支援事業	継続	210千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・基幹相談支援センターと協議し研修等の開催を行い、町内の課題を見つけ、解決するための連携強化に努めます。
- ・自立支援協議会の部会開催に向けて、基幹相談支援センターとともに年間計画を立て実施します。

基本事業1-4-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進

【めざす姿】

障がいのある人が、地域で自立した生活を送ることができるよう、地域住民や関係機関、事業所等が連携し、就労先の確保や社会参加の促進、コミュニケーションへの支援、さらには、スポーツを楽しむ機会等の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数(年間)	2 回
外出支援に係る障害福祉サービス等利用者数(年間)	25 人
就労支援サービス利用者数(累計)	130 人
自立支援協議会就労支援部会開催回数(年間)	4 回

【指標の方向性】

- ・「広報ひじ」や町ホームページでの啓発と併せ、研修会や講習会を開催し、障がい者差別の解消を図ります。
- ・障がい者の外出時における支援や障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の確保等の合理的配慮に取り組んでいきます。
- ・障がい者の雇用につながるよう、企業のニーズを把握しながら、幅広い職種への対応ができるよう就労移行支援事業所による訓練を促進します。また、雇用機関との連携を強化し、福祉サイドからの就労支援を図り、障がいのある人の職業的自立と雇用の促進に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
重度身体障がい者タクシー料金助成事業	継続	1,806千円
障害児通所支援利用促進事業	継続	522千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・基幹相談支援センターと協議し、就労支援部会、地域生活支援部会の本格的な活動再開および年2回の本部会開催を目指し、連携強化に努めます。
- ・相談事業所への障害福祉サービスの周知に努め、新規利用者の増加につなげます。

1-5 子育て支援の充実

担当課:子育て支援課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

安心して子育てできる環境が確保され、子どもがいきいきと輝き、健やかに育っている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
子育てしやすい環境が整っていると思う町民の割合	85.0%
出生数	250 人

【指標の方向性】

- ・待機児童の解消や各種保育サービスの充実、相談窓口の一元化等により、子育てしやすい環境を整えます。
- ・結婚の希望や子供を持ちたい希望の実現を支援することで出生率の向上、または現状維持を目指します。

■基本事業の取組方針

基本事業1-5-1 子どもを産み育てやすい環境づくり

【めざす姿】

子どもを持つことを希望する誰もが、安心して結婚、妊娠、出産、子育てができるよう、相談体制の充実や子どもの居場所づくり等に取り組み、地域全体で子育てを支える体制づくりが推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
子育て世代包括支援センター年間相談件数	2,500 件
母子手帳アプリ「おひさまにここに」登録者数(累計)	1,000 人
公園の施設に満足している町民の割合	70.0%

【指標の方向性】

子育て支援の拠点として子育て支援事業の充実を図るとともに、関係機関と連携して、妊娠期からの子育てに関する相談支援を充実させていきます。また、町ホームページに加え、子育てアプリ等を用いて、情報発信数等を向上させることにより、子育て支援事業の利用促進を図ります。さらに、公園等における遊具やトイレ等の環境整備に取り組みます。

【令和 7 年度 取組方針】

町内の地域子育て支援センターが 2 か所となり、乳児期の親子の相互交流の場や気軽に相談できる場を提供し、健やかな成長のための情報発信の場としても連携して取り組みを進めていきます。

基本事業1-5-2 母子保健・福祉の充実

【めざす姿】

妊娠・出産・育児にわたる母子保健(健診・相談・指導等)の充実と、不妊・不育治療費や子ども医療費等のほか、ひとり親家庭への支援等により、子育て世代の精神的・経済的な不安や負担の軽減が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
乳幼児健診受診率	4 カ月 100% 1 歳 6 カ月 100% 3 歳児 100%
3歳児健診でのむし歯保有率	16.0%
乳児家庭全戸訪問実施率	100%

【指標の方向性】

・母子手帳交付時や乳幼児健診等を通じて母子の保健指導を積極的に図るとともに、乳幼児健康診査や予防接種等の周知啓発を図ることで目標の達成を図ります。

・家庭、地域、事業所との連携により適切な生活習慣や食習慣、運動習慣を形成する取組の充実を図ります。

・乳児のいる全家庭を訪問し、育児の不安や悩みの相談を受け、支援に関する適切な情報提供を行い、必要な支援につなげることで、子育ての孤立感や不安感の軽減を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
乳幼児健診・育児相談事業	拡充	36, 147千円
妊娠時プレママ応援交付金事業	新規	2, 000千円
子ども医療費助成事業	継続	128, 233千円
任意予防接種事業	継続	2, 549千円
家事育児支援事業	継続	287千円
産後ケア事業	継続	3, 394千円

【令和 7 年度 取組方針】

・新たに 1 か月児健診が始まりよりきめ細やかな切れ目のない支援体制の構築を図ります。

基本事業1-5-3 保育サービスの充実 **重プ②**

【めざす姿】

様々なライフスタイルや保護者の多様な就労形態により、多様化する保育ニーズに対応するため、安全・安心で、質の高い教育・保育環境が確保されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
保育園・認定こども園等の待機児童数	0 人
保育所等整備施設数(累計)	3 箇所
病児・病後児保育利用可能施設(累計)	3 箇所
ファミリーサポートセンター事業の会員総数(累計)	460 人

【指標の方向性】

- ・様々な保育形態を組み合わせながら保育定員の確保を図るとともに、保育士の人材確保を支援することで、待機児童を解消します。
- ・多様化する保育ニーズに対応するため、事業所等と連携して受入環境の充実を図ります。
- ・町内施設の確保や県内広域化による相互利用により、増加する「病児保育」のニーズに対応していきます。
- ・町民相互援助活動であるファミリーサポートセンター事業の拡大を図るため、新たな提供会員の確保に努め、制度周知を図っていきます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
保育人材確保事業	新規	4,800千円
地域子育て支援事業	拡充	55,400千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・令和8年度に向けて、誰でもこども通園制度の準備を行い、スムーズに事業開始を目指します。
- ・第 3 期子ども・子育て支援事業計画に基づいた教育・保育の提供体制の確保、地域子ども・子育て支援事業の充実を図ります。

基本事業1-5-4 放課後の子どもの居場所づくり **重プ②**

【めざす姿】

学校、地域、事業者と連携し、子どもが放課後などを安全・安心に過ごすことができる居場所づくりを進めます。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
放課後子ども教室実施数(累計)	5 箇所
放課後児童クラブの支援単位数(累計)	12 単位

【指標の方向性】

- ・地区公民館や町立図書館、スポーツ少年団等の既存の地域資源を活用した見守り事業を推進します。
- ・中長期的な児童推計、女性の就業率及び地域のニーズ把握に努め、適切な施設整備を図るとともに、民間学童等の児童の受入拡大も含め、保育ニーズに対応します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
放課後児童健全育成事業	拡充	100,963千円
児童館運営事業	継続	6,936千円
子どもの居場所づくり推進事業	継続	400千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・藤原地区放課後児童クラブ1支援単位増設に伴う設備整備を行います。
- ・民家を活用し、日出校区放課後児童クラブの施設整備を行います。

基本事業1-5-5 子どもの人権の尊重**【めざす姿】**

子どもの人権を守るために、関係機関が連携し、児童虐待防止・早期発見の取組がすすみ、町民への啓発も進められており子どもの成長を支援する地域社会が形成されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
要保護児童対策地域協議会の開催回数(年間)	12 回
児童虐待の相談通告先を「知っている」と答えた町民の割合	50.0%

【指標の方向性】

- ・要保護児童対策地域協議会をはじめとした、児童に携わる様々な団体と協力して、児童虐待の防止・早期発見に努めます。
- ・児童虐待を未然に防ぐ相談・支援体制づくりを促進するとともに、町民や対象世帯への効果的な情報発信により目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・こども家庭センターを中心に、関係機関・関係団体との連携をして、要支援児童等の支援に取り組んでいきます。
- ・児童虐待の相談先やヤングケアラー等について、社会的認知度を高めていきます。
- ・職員のスキルアップを図っていきます。

政策2【教育・文化】未来に続く人と文化を育むまちをつくる

2-1 学校・園教育の充実

担当課:教育総務課、学校教育課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

変化の激しい新しい時代の中でも、自ら学び、自ら考え、行動し、それぞれが思い描く幸せを実現できる力を身に付けている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	80.0%
	中学校	77.0%
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	82.0%
	小学校女子	85.0%
	中学校男子	80.0%
	中学校女子	87.0%

【指標の方向性】

- ・日々の授業では、付けたい力を明確にし、確かな見取りと特別な配慮を必要とする児童生徒への具体的な手立てを講じます。
- ・生徒指導の3機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を意識した授業展開や特別活動の工夫を図ります。
- ・運動量を確保するとともに運動の愛好度を高めるための体育授業の展開を工夫し、体育的な活動の充実を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 2-1-1 確かな学力の向上 **優先**

【めざす姿】

基礎・基本の確実な定着と低学力層の底上げが図られている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%

【指標の方向性】

日々の授業では、付けたい力を明確にし、確かな見取りと特別な配慮を必要とする児童生徒への具

体的な手立てを講じます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・経験年数の浅い教員の授業力向上に向けた取組(授業力向上アドバイザー活用、公開授業参加、町教育委員会主催の「教職員研修会」等)を推進します。
- ・英語教育推進教員、小学校体育専科教員、日出町教育課程研究協議会の提案授業・自校以外の校内研究会への積極的参加を求め、互いの指導に学び合う研修を行うことで、町内教員全体の授業力の向上を図ります。
- ・中学校「学力向上 3 つの提言」のさらなる強化のため、互見授業・公開授業に取り組みます。
- ・ICT 活用指導力の向上に向けた町内研修や校内研修を実施します。

基本事業 2-1-2 豊かな人間性の育成

【めざす姿】

「特別の教科道徳」の時間を要とし、自然体験や社会体験など、豊かな人間性や社会性を育む多様な体験活動が充実されている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	80.0%
	中学校	77.0%

【指標の方向性】

生徒指導の3機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を意識した授業展開や特別活動の工夫を図ります。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・「生徒指導の3機能」や「人権尊重の3視点」を意識した取り組みを行い、授業改善や特別活動の工夫を行います。
- ・人間関係づくりプログラムの実践や研修、人権教育の充実に取り組みます。

基本事業 2-1-3 健康・体力づくりの推進

【めざす姿】

運動習慣の定着及び健康増進を目的とした「体力向上」の取組を推進し、学校教育活動全体を通じて、児童生徒の発達の段階に応じた健康教育の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	82.0%
	小学校女子	85.0%
	中学校男子	80.0%
	中学校女子	87.0%

【指標の方向性】

運動量を確保するとともに運動の愛好度を高めるための体育授業の展開を工夫し、体育的な活動の

充実を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
各種競技九州、全国大会出場費補助事業	継続	1,966千円
部活動活性化推進事業	継続	555千円
フッ化物洗口事業	継続	1,480千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・各学校作成の「体力向上プラン」の短期見直し、修正を行います。
- ・日出町体力向上推進委員会を年2回以上、食育担当者会を年1回以上開催します。
- ・体育専科教員を活用し、町内小学校を毎週訪問し体育の授業改善や指導法や教具、場の工夫等や一人一台端末の活用について各校に広めることで、教員の指導力向上を図ります。

基本事業 2-1-4 グローバル人材の育成

【めざす姿】

グローバル化、人工知能(AI)をはじめとする、子どもを取り巻く環境の変化に対応した教育が促進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
外国語指導助手(ALT)による授業を楽しいと答えた児童の割合	94.0%
教員が1週間に PC 等の情報機器を活用する日数	5 日

【指標の方向性】

英語専科教員やALT等を活用し、授業や研修を通して、小学校教員の英語指導力向上を図るとともに人工知能(AI)をはじめとする技術革新等、子どもを取り巻く環境の変化に対応した教育を促進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
中学校外国語活動推進事業	継続	5,509千円
小学校外国語活動推進事業	継続	18,597千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・ICT 機器等の活用について、持ち帰りを含む授業での活用について啓発を行います。
- ・情報機器活用研修は教職員のニーズに対応した研修となるように、各校2人以上の参加を要請し、事前調査をもとにした年間4回の研修を実施します。

基本事業 2-1-5 特別支援教育の充実

【めざす姿】

就学相談等、障がいのある子どもへの早期からの相談支援体制の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
「個別の指導計画」の作成率	100%

【指標の方向性】

「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、一人一人の障がいの状況・特性等を考慮したきめ細かな指導を行います。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・特別支援学級に在籍している児童生徒と、通常の学級に在籍していて特別な支援を必要としている児童生徒について、個別の指導計画の作成を100%実施します。
- ・別府教育事務所の「個別の指導計画推進教員」の学校訪問や校内研修を全ての学校で実施し、さらなる計画の充実と児童生徒のニーズに合った支援のありかたや活用の仕方について改良を重ねます。
- ・特別支援教育支援員については、年1回以上の研修会を行うとともに、情報交換などを行い、その資質向上と職務上の課題解決に努めます。

基本事業 2-1-6 幼児教育の充実

【めざす姿】

幼児期にふさわしい教育・体験活動の提供について幼稚園・小学校・保護者・地域の共通認識が図られ、推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数	年 4.0 回
1学級15人以上の町立幼稚園の割合	100.0%

【指標の方向性】

幼保小の合同研修や児童・園児の交流活動等を通して、小学校の教育活動への円滑な移行を図ります。また、幼児期にふさわしい教育・体験活動の提供については、幼稚園・小学校・保護者・地域の共通認識を図った上で、幼児教育を推進し、集団活動に適正な園児数の確保に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・学級編成基準を見直し、1学級の幼児数を 25 人以下としたことにより、増加傾向にある特別な配慮を要する子どもの状況や特性に応じた教育環境の改善を推進します。
- ・町全体の就園対象児数が減少傾向にあり、未就学児の教育・保育サービスや保護者ニーズが多様化する中、公立幼稚園の特性を活かした園環境整備や情報発信を行います。

2-2 教育環境の充実

担当課:教育総務課、学校教育課、学校給食センター

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

学校、家庭、地域社会で目標や課題が共有され、時代の変化に対応した質の高い学びの場が提供されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%

【指標の方向性】

・児童生徒一人一人の状況に応じて適切な指導・援助を行い、「心の居場所づくり」に努めていきます。
・全教職員がいじめは絶対に許さないという共通認識を持ち、組織的な取組、関係機関との連携を図っていきます。

■基本事業の取組方針

基本事業 2-2-1 子どもの学びの保障 **優先**

【めざす姿】

いじめや不登校を生まないために、小・中学校間の引継ぎを確実に行うとともに、未然防止に向けた情報・行動の連携が推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%

【指標の方向性】

・児童生徒一人一人の状況に応じて適切な指導・援助を行い、「心の居場所づくり」に努めていきます。
・全教職員がいじめは絶対に許さないという共通認識を持ち、組織的な取組、関係機関との連携を図っていきます。

【令和7年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
日出町奨学金支給事業	継続	1,250千円
スクールソーシャルワーカー活用事業	継続	1,610千円
フレンドリー広場事業	継続	4,860千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・日出町生徒指導部会やスクールカウンセラー連絡協議会において情報交換や研修を行い、取組に対する町内全校の共通理解を深めます。
- ・地域児童生徒支援コーディネーターと町内各小・中学校の教育相談コーディネーターとの連携を深め、教育相談体制の充実を図ります。
- ・町内各小・中学校と日出町教育支援センター「フレンドリー広場」との連携を深め、不登校児童生徒への支援をより効果的に進めます。

基本事業 2-2-2 時代の変化に対応した教育環境の整備

【めざす姿】

グローバル化、人工知能(AI)等、子どもを取り巻く環境の変化に対応した教育環境の整備が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ICT 支援員の人数	2 人

【指標の方向性】

ICT 支援員の活用により、児童が ICT などの情報手段に慣れ親しみ、活用できるよう環境整備に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
教育 ICT 環境整備事業	拡充	225,122千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・学習用端末(タブレット)の全数更新(県共同調達)を行うとともに、GIGA スクール構想関連機器の更新を行います。

基本事業 2-2-3 教職員の働き方改革の推進

【めざす姿】

教職員の研修環境を充実させ、学び続ける教職員の支援が充実している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
教職員の1か月の平均超過勤務時間(削減目標)	30 時間

【指標の方向性】

ICT 支援員等の体制整備、職場環境の改善に取り組み、子どもたちと向き合う時間や授業準備、教材研究の時間を確保することで、よりよい教育が実現できるようにします。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
中学校学習指導員活用事業	継続	2,157千円
小学校学習指導員活用事業	継続	5,391千円
中学校スクールサポートスタッフ活用事業	継続	2,157千円
小学校スクールサポートスタッフ活用事業	継続	5,391千円
部活動指導員活用事業	継続	2,658千円

【令和 7 年度 取組方針】

・教職員の働き方改革が強く求められる中、負担軽減のために必要な事業であるので、スクールサポートスタッフの最適な配置、部活動指導員のさらなる増員を目指します。

基本事業 2-2-4 学校給食の充実

【めざす姿】

学校給食を活用した食に関する指導を図るとともに安全・安心でおいしい給食を提供されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
一日当たりの平均残菜率(削減目標)	10.0%
町内産野菜の使用率	27.6%

【指標の方向性】

・学校給食を活用した食育指導を行うとともに栄養的にバランスの取れた給食を提供し、児童生徒の健康の増進や体力の向上を目指します。

・安全・安心でおいしい給食を提供するため、学校給食で使用する食材の安全確保と地場産物の使用の拡大に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
学校給食調理事業	継続	90,558千円
学校給食食材調達事業	継続	172,735千円

【令和 7 年度 取組方針】

・食の安全・安心の確保を最重要課題として徹底して取り組み、加えて、児童生徒の健康増進や体力向上のため、栄養バランスに配慮した給食を提供します。

・食材価格の高騰や国の無償化の動向を注視し、状況に応じた適切な予算等対応を検討します。

・地場産野菜の使用率向上に向けて、生産者や出荷団体との情報共有や調整を密に行い、安定的な供給体制を構築します。

・残菜率の低減について、食育指導を強化するとともに喫食状況を調査しその結果に基づいた改善

を図ります。

基本事業 2-2-5 地域とともにある学校づくりの推進

【めざす姿】

学校・家庭・地域で、教育に係る目標やビジョンが共有され、学校運営協議会が充実している。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
外部人材を活用した特別授業を実施した開催数(年間)	小学校	20 回
	中学校	15 回

【指標の方向性】

地域人材等を活用し、学校と家庭・地域が一体となった体制整備に努め、多様な学習活動を推進します。

【令和 7 年度 取組方針】

・先進的な取り組みを行っている学校の方法を共有することで、事業活性化を図っていきます。一方で、地域の特色や方針には配慮し、その地域に合った方法を構築していきます。

2-3 生涯学習・社会教育の推進

担当課:社会教育課、町立図書館

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

生涯学習により自己充実が図られている。また、その学習結果が地域や家庭に還元されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
公民館主催教室やリーダー研修の参加者数(年間)	400 人
町立図書館来館者数	100,000 人

【指標の方向性】

- ・公民館主催教室やリーダー研修において地域における社会教育の実践者を育成するとともに、実践者に対する効果的な支援の実施と、町民に向けて周知を図ることで目標の達成を図ります。
- ・町立図書館を「読書のまちづくりの拠点」とし、乳幼児から高齢者まで世代に応じた資料の充実と情報提供を行い、誰もが読書に親しみやすい図書館となるよう機能強化を行います。

■基本事業の取組方針

基本事業 2-3-1 地域活動の充実 **重**プ①

【めざす姿】

住民が広く行事に参加できるように体育文化行事などが充実されており、地域づくりを行う人材育成が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合	75.0%
地域リーダー養成研修開催回数(年間)	5 回

【指標の方向性】

- ・地区体育祭やふるさとまつりなどの地区公民館事業を精査しなおし、住民が満足して参加できるイベントを開催すると同時に地域活動に係る人材の育成に努めていきます。
- ・自治公民館長、主事及び地区役員を中心に幅広く参加者を募り、研修内容も充実することで地域づくりを行う人材育成に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
中央公民館費	継続	38,823千円
二十歳のつどい推進事業	継続	1,245千円
社会教育総務費	継続	96,943千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・「自治公民館連絡協議会研修」を「地域リーダー養成研修開催回数(年間)」と位置付けている。年間 5 回の研修を計画的に進めていきます。
- ・公民大学については、できるだけ多くの人が受講できるよう、町民の興味が高いテーマの講義を盛り込み、受講者の増加を目指し、生涯、学ぶことができる体制のさらなる構築を目指します。

基本事業 2-3-2 学習機会や学習内容の充実

【めざす姿】

住民が広く行事に参加できるように体育文化行事などが充実されており、地域づくりを行う人材育成が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
公民館主催教室開催数(年間)	8 教室
公民館主催教室参加者数(年間)	180 人
各地区公民館だよりの発行回数(年間)	34 回
自主教室開催数(年間)	38 教室

【指標の方向性】

- ・学習機会の必要性を普及・啓発し、各世代のニーズに応じた学習機会の提供に努めます。
- ・広報誌などにより定期的に活動内容や教室への参加募集について周知を図ります。
- ・公民館主催教室の取り組みを充実させ、自主教室への誘導を図ることで、町民の主体的な取り組みを促進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
中央公民館費	継続	38,823 千円
地域社会デジタル化事業	継続	732 千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・主催教室に新たに己書を加え、全 8 教室を開催します。
- ・公民大学は、おおむね 2 か月ごと、年 5 回の開催を目標とし、町民の興味が高いテーマを選定していきます。

基本事業 2-3-3 地域における子どもの健全育成

【めざす姿】

社会教育関係団体などと広く連携し、ニーズに沿った取り組みが図られることにより、子どもの健全育成が推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地区公民館放課後子ども教室開設数(累計)	5 箇所
体験活動教室などの開催数(年間)	60 回

【指標の方向性】

- ・地区公民館事業の充実に努め、地域との連携により豊岡、川崎地区以外の地区への教室拡充を図ります。
- ・子どもと保護者のニーズに沿った様々な学びの機会を提供することによって、子どもの可能性を広げ、健全育成に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業	継続	912千円
子ども会育成事業	継続	580千円
子ども会 60 周年記念事業	新規	550千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・体験教室の開催については、地区公民館事業・子ども会事業を中心に年間を通じて開催します。
- ・放課後子ども教室については、南端を除く町内5地区で開設できるよう調整を行います。
- ・子ども会の組織率の向上を図ります。

基本事業 2-3-4 読書のまちづくりの推進**【めざす姿】**

「文教の町」にふさわしい図書館として広く親しまれるよう蔵書、貸出機能が充実するとともに、町民のコミュニティ施設としての機能強化が図られ、多くの町民が図書館を利用している

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町立図書館蔵書貸出数(年間)	130,000 冊
町立図書館内行事参加者数(年間)	1,600 人
子ども司書認定者数(累計)	40 人

【指標の方向性】

- ・町民ニーズを捉えた蔵書、レファレンス機能の充実を図ることで目標の達成を目指します。
- ・関係機関・団体と連携し、子どものころから本に慣れ親しむ環境づくりに努めます。
- ・各学校と連携し、学校図書館、町立図書館の機能を相互に充実し、子どもの読書活動を推進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
図書館運営事業	継続	114,702千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・7 月に 10 周年を迎えるため、10 周年イベントを開催します。
- ・他市町村の動向も注視し魅力的なイベントの開催に努め新規来館者を増やし、来館者数と貸出冊数を増やしていきます。

2-4 芸術・文化・スポーツの推進

担当課:社会教育課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

豊かな芸術・歴史・文化を体感し、誰もが気軽にスポーツに参加して、こころ豊かに元気で健やかに暮らしている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
文化協会会員数	810 人
週1回以上スポーツをした人の割合	56.0%
文化財施設年間来館者数 【歴史資料館(帆足萬里記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	14,000 人

【指標の方向性】

- ・文化協会等関係団体の自主的な活動を支援するとともに指導者となる人材の育成を図り、町民全体の芸術文化活動への参加を促進し目標の達成を図ります。
- ・各種団体や自治区と連携し、生涯スポーツ事業の充実を図り、誰もが気軽に参画できる環境づくりに努め目標の達成を図ります。
- ・文化財施設の改修・整備を計画的に実施し、貴重な郷土の歴史・先哲資料を収集・保存や展示公開などの有効活用を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 2-4-1 文化・芸術の振興と活用

【めざす姿】

住民が広く行事に参加できるように体育文化行事などが充実されており、地域づくりを行う人材育成が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
産業文化まつり参加団体数(文化部門)	87 団体
文化協会会員数	810 人
伝統芸能・文化の継承者数(辻間楽・津嶋神楽)	25 人

【指標の方向性】

- ・町民の芸術・文化活動の場を提供する一方、町民ニーズをふまえた講演会や音楽会などを開催し、魅力的なイベントとすることで目標の達成を図ります。
- ・関係団体の活動支援を充実させ、伝統芸能だけでなく地域に根付いた文化の継承に努め、町への

愛着を育むことを目指します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
襟江亭保存活用事業	新規	30,304千円
芸術文化振興事業	継続	2,268千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・行事や催し等について、町民(特に若年層)に興味関心の持たれるイベントを開催できるように努め、会員増加や目標達成に繋げていきます。
- ・伝統芸能の継承について、辻間楽、津嶋神楽を基軸に継承団体の意向を適宜聴取しながら、継承活動の啓発、参加勧誘等の支援を行い継承者の増加に取り組めます。

基本事業 2-4-2 歴史文化遺産を活かしたまちづくり

【めざす姿】

町の歴史・文化に関連する遺産の適切な保存に努めるとともに観光振興に貢献する取り組みが進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
歴史資料館での特集展開催回数(年間)	3 回
歴史・文化財に係る年間広報活動(広報特集・HP コラムの計)	20 件
文化財施設年間来館者数 【歴史資料館(帆足萬里記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	14,000 人

【指標の方向性】

町に長く受け継がれた歴史・先哲資料を、広報誌等を通じ広く普及啓発を図っていきます。また、資料館においてテーマに応じた展覧会等を企画することにより、歴史文化の継承と地域愛の醸成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
歴史先哲資料保護費	継続	661千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・令和7年は太平洋戦争戦後80年の節目の年にあたり、全国各地で記念事業の企画・開催が予想されるため、日出町として「戦争と平和」を考究する試みとして、近代戦争(明治～昭和20年)における日出町の戦没者に主眼を置いた調査・研究、その成果の教育普及(特集展、講座、講演会など)に重点的に取り組めます。

基本事業 2-4-3 生涯スポーツの振興 優先

【めざす姿】

子どもから高齢者まで、また、障がいのあるなしに関わらず、多くの町民がそれぞれに自分にあったスポーツを気軽に楽しんでおり、生きがいをもって元気に日常を過ごしている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
スポーツに係る周知啓発回数(年間)	4 回
総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数	280 人
スポーツ少年団への加入率(小学生)	24.0%

【指標の方向性】

- ・広報誌・ホームページ双方で周知啓発の促進を図ります。
- ・「ひまわりのたね」の運営・活動を支援するとともに、町民への周知を強化し、生涯スポーツの推進に努めます。
- ・各種団体と連携し、支援事業の充実を図ります。また、指導者研修の実施によりスポーツを通じた健全育成に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	継続	500千円
総合型地域スポーツクラブマネージャー設置事業	継続	2, 962千円
体育振興費補助金事業	継続	1, 500千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・総合型地域スポーツクラブを、町報、ホームページ、回覧等で町民への周知啓発を図ります。
- ・総合型地域スポーツクラブの役割、目的を明確にし、魅力ある教室の開催・増設を目指します。
- ・スポーツ少年団や協会加盟団体の関係者への指導者研修会等を通じ、地域全体で青少年の育成や生涯スポーツの振興を図る必要性等について理解を深める機会を作ります。
- ・生涯スポーツフェスタや新春健康マラソンを開催にあたり、より工夫を凝らした周知啓発を図り、多くの町民がそれぞれ自分にあったスポーツを気軽に楽しめるようにします。
- ・総合型地域スポーツクラブと連携し、令和7年度中の部活動地域移行に向けて取り組みます。

基本事業 2-4-4 競技スポーツの振興

【めざす姿】

スポーツ人口が増え、町指導者の育成と選手の発掘が進むことで各競技の強化が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
大分県民体育大会で入賞(1～3位)した競技種目数	23 競技
スポーツ指導者研修会の参加者数(年間)	70 人

【指標の方向性】

・生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の増進とあわせ、指導者研修の充実を図ることにより、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
スポーツ協会補助金事業	継続	5,357千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・日出町選手権大会の開催、大分県民スポーツ大会に出場することにより、各競技の強化を図ります。
- ・国東半島駅伝競走大会、大分県郡市対抗駅伝大会に出場することにより、競技の強化を図ります。
- ・町指導者の指導者研修の充実を図り、競技力を支える人材育成に努めます。
- ・大分県民スポーツ大会での成績向上のため、競技力向上のプランや選手発掘、指導者育成等、競技人口の拡大と選手強化を目指します。

政策3【防災・防犯】安全・安心な生活を守るまちをつくる

3-1 防災・減災対策の推進

担当課:総務課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

「強くしなやかで災害に強いまち」が形成されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
備蓄物資確保数	1,800 人分
災害時応援協定等締結団体数	37 団体

【指標の方向性】

- ・長期かつ多数の避難者に対応できるよう、備蓄物資の現状保有量の維持、適正管理に努めます。
- ・災害時に不足する人的・物的資源の支援を要請するため、関係機関や民間企業・事業所・団体との協定を締結し、連携の構築を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 3-1-1 避難所・備蓄物資等の充実

【めざす姿】

大規模自然災害の発生に備え、避難者の受け入れ体制が整備・構築されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
指定避難所の耐震化率	100%
備蓄物資確保数(想定避難者数分)	1,800 人分

【指標の方向性】

- ・安全で2次避難の懸念がないよう、指定避難所の整備を図ります。
- ・長期かつ多数の避難者に対応できるよう、備蓄物資の現状保有量の維持、適正管理に努めます。なお、状況により避難所・避難場所の開設数を増やした場合は物資保管数の見直しを図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
安心・安全まちづくり事業	拡充	18,687千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・更新が必要な食料やオムツ等の購入、国の交付金を活用しパーティション等の購入を行います。
- ・避難所生活の改善が求められており、食料等だけではなくトイレ関連やプライバシー保護関連の物資の購入も進めていきます。

基本事業 3-1-2 防災訓練等の普及促進 **優先**

【めざす姿】

「自助」「共助」による防災力の向上と迅速・正確な防災情報等の発信により、避難遅れ等の回避を図る。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町補助金を活用した自治区数	10 地区
町独自の防災・避難情報発信ツール	4 本
防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数	9 団体

【指標の方向性】

- ・被害が発生する可能性がある区域の自主防災組織の防災訓練等の取組みを支援し、共助による防災力の向上を図ります。
- ・防災アプリ等の情報発信ツールの導入・運用を図ります。また、全町民が対応できるよう防災ラジオの導入についても検討を進めます。
- ・防災士会と連携し、地域、団体等への防災知識の普及啓発に努め、防災意識の向上を促進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
防災関連事業【総務課】	拡充	36,258千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・防災行政無線アプリの運用を開始します。
- ・防災士会による講和等の内容を拡大します。

基本事業 3-1-3 災害対応・体制の構築・整備

【めざす姿】

あらゆる事態を想定し災害対応・体制の構築を図る。また、町行政だけでは対応できない場合に支援要請を行うため、各種団体との協定締結を推進する。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
災害時対応方策の見直し		適宜見直し (原則毎年度)
災害時応援協定等締結団体数		37 団体
主な団体	医療	1 団体
	避難収容	15 団体
	物資調達供給	10 団体
	応急復旧	5 団体

【指標の方向性】

- ・地域防災計画、BCP、災害対策本部設置・運営要領など災害時に活用する対応方策を適宜見直し、実効性の向上を図ります。
- ・災害時に不足する人的・物的資源の支援を要請するため、関係機関や医師会、運送関係企業等の団体・民間企業・事業所との協定を締結し、連携の構築を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】 ※施工箇所は予定のため、予算査定を経て変更する場合がある

事務事業名	区分	R7 予算額
防災施設整備事業	拡充	9,959千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・災害協定の締結先を拡充するために企業に対して打診します。
- ・継続して災害対策本部訓練を職員向けに行います。
- ・福祉避難所との連携を目的とした訓練を実施します。

3-2 安全な暮らしの推進

担当課:総務課、政策企画課、都市建設課

■施策の指標・方針

【めざす姿】

犯罪や交通事故が少ない安全で安心なまちとなっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
刑法犯認知件数	前年比減
交通(人身)事故発生件数	43 件

【指標の方向性】

- ・杵築日出警察署、日出町防犯協会連合会、自主防犯組織等との連携により、犯罪発生を抑止を図ります。
- ・交通安全環境の向上に努めるとともに、関係機関や各種団体と連携し交通安全意識の高揚を図ることで交通事故発生件数の減少をめざします。

■基本事業の取組方針

基本事業 3-2-1 防犯対策の推進

【めざす姿】

各種団体等との連携により、犯罪発生を抑止が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
刑法犯認知件数(年間)	前年比減
自主防犯組織(防犯パトロール隊)数	13 団体

【指標の方向性】

- ・杵築日出警察署、日出町防犯協会連合会、自主防犯組織等との連携により、犯罪発生を抑止を図ります。
- ・自主防犯組織の新規結成を支援するとともに、活動中の組織の解散を抑止するため、自主防犯組織の活動を支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
防犯対策事業	継続	5,075千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・杵築日出警察署、日出町防犯協会連合会、自主防犯組織等と連携して事業を推進します。

基本事業 3-2-2 交通安全活動の推進

【めざす姿】

関係機関や団体との連携による交通安全に関する行事や広報・啓発活動の充実を図り、町全体で交通安全運動が推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
免許返納支援事業利用者数(年間)	139 人
高齢者体験型交通安全教室参加者数(年間)	118 人
街頭指導回数及び広報活動回数(年間)	81 回

【指標の方向性】

- ・関係機関と連携し、地域公共交通の充実を図るとともに、啓発活動、支援事業を強化し高齢者による交通事故の抑止に努めます。
- ・各関係機関、地域との連携により啓発活動を充実させ、交通事故減少に努めます。

令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
交通安全対策事業【総務課】	継続	3,822千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・引き続き高齢者の事故防止のため、免許返納支援事業の PR を行い、交通広報活動に力を入れていきます。

基本事業 3-2-3 交通安全施設等の整備

【めざす姿】

危険個所への交通安全施設の整備、充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
危険個所に対する安全対策実施割合(累計)	100.0%

【指標の方向性】

- ・危険個所へのガードレールやカーブミラーなど、交通安全施設の整備および従来施設の適切な維持管理に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・パトロール及び査定を適宜行うとともに、緊急性が高い危険個所については、早期に安全性が確保できるようにします。
- ・適切な予算の確保を行います。

基本事業 3-2-4 消費者保護対策の推進

【めざす姿】

消費者が、消費生活に関する正しい知識を習得し、安心して生活できる環境が整っている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
消費者相談に対する助言・斡旋回数(年間)	36 件
高齢者・若年層への啓発活動回数(年間)	12 回

【指標の方向性】

- ・大分県消費生活センター等との連携を強化し、相談体制の充実を図ります。
- ・出前講座等を実施し、消費者教育の推進に努め、特殊詐欺被害の減少に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
消費者行政費	継続	1,726千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・相談員による相談業務を週2回行い、広報ひじ等で相談事業を周知します。
- ・ホームページにて毎月1回以上啓発活動を行います。
- ・あんしんサポート登録者を対象とした電話による啓発を年6回行います。

3-3 消防・救急体制の充実

担当課:総務課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

消防救急体制が充実し、町民の安心につながっています。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
火災発生件数	0 件
消防団組織率	90.4%

【指標の方向性】

- ・火災予防広報等により、火災発生の抑止を図ります。
- ・火災予防・初期消火活動の重要な役割を担う消防団員の確保に努めます。

■基本事業の取組方針

基本事業 3-3-1 火災予防の推進

【めざす姿】

防火意識の高揚、関係団体等による迅速な消火活動の実践により、火災予防、火災被害抑制が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
火災発生件数	0 件
延焼発生件数	0 件

【指標の方向性】

・消防団による火災予防広報の実践や地域・家庭における初期消火訓練や消火・防火用品の備え置きの普及啓発を行い防火意識の高揚を図るとともに、杵築速見消防組合及び消防団による迅速な消火活動の実践により火災の被害を可能な限り抑制するよう努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
消防団運営事業	継続	28,101千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・消防団による火災予防広報を行い、火災発生件数の更なる抑止に努めます。
- ・延焼対応について、初動対応が重要であるため、放水訓練を実施し、団員の練度を高めるとともに、消防本部との連携についても強化を行います。

基本事業 3-3-2 地域消防力の充実・強化 優先**【めざす姿】**

杵築速見消防組合の管理運営、消防団の団員の確保・装備品の充実等により、地域における消防力が充実している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
消防団員組織率	90.4%
消防学校課程修了団員数(年間) ※操法課程除く	3 人
更新計画年数(20 年)を経過した積載車台数(削減目標)	0 台
更新計画年数(20 年)を経過した小型動力ポンプ台数(削減目標)	0 台

【指標の方向性】

火災予防・初期消火活動の重要な役割を担う消防団の団員確保及び装備品の充実・強化を推進するとともに、消防署との訓練や消防学校課程を通して消防団員の消火技術等の向上を図り、地域消防力の充実・強化に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
消防施設整備事業	継続	3,278千円
消防団運営事業	継続	28,101千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・引き続き消防団員の獲得に努めます。
- ・機能別消防団の早期活動に向けて整備を進めます。

政策4【産業振興】 産業振興により活力あるまちをつくる

4-1 商工業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

商工業者の経営安定や経営基盤の強化、創業に対する各種支援の充実を図り、町内商工業のさらなる振興が促進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町内事業所数	1,200 社

【指標の方向性】

中小企業支援、創業支援を積極的に展開することによって町内事業所数の増加につなげ、町内全域での商工業振興につなげます。

■基本事業の取組方針

基本事業 4-1-1 中小企業の支援 **重プ③**

【めざす姿】

中小企業者が設備投資に取り組みやすい環境が整備されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
企業訪問件数(累計)	120 件
広報紙による制度周知(累計)	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(年間)	10,000 件
ふるさと納税返礼品数(累計)	500 品
ふるさと納税額(年間)	10.00 億円

【指標の方向性】

- ・法令等に基づく中小企業支援・雇用関連施策の活用を促すため、積極的に企業訪問を実施し、個別説明を行います。
- ・法令等に基づく中小企業支援施策や雇用関連施策の活用を促すため、広報紙等を通じた制度周知に努めます。
- ・販路拡大と販売支援を目的とした、ふるさと納税返礼品数の増加に努め、企業収益が増加するよう取り組みます。また、ふるさと納税の PR 等を推進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
商工団体振興対策事業	継続	6,200千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・企業訪問の実施による制度周知と情報収集に取り組みます。
- ・広報紙を活用した中小企業に対する支援制度(中小企業等経営強化法や半島振興法など)を周知します。

基本事業 4-1-2 創業の支援と推進 重プ③

【めざす姿】

商工会やツーリズム協会等の関係機関との連携が深まり、各種支援施策が効果的に展開されることによって、創業しやすい環境整備が図られ、町内全域で創業者が増加している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
創業スクール等参加者数(累計)	300 人
商店街の空き店舗等所有者への意向調査	1 回
商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催回数(累計)	5 回
空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数(年間)	10 件
創業者件数(累計)	60 件

【指標の方向性】

- ・商工会やスタートアップセンターで開催する創業スクール等の参加者を増やすことで、創業希望者の支援を実施します。
- ・空洞化が進む商店街の活性化を図るため、商店街で空き店舗等になっている物件について、所有者に意向調査を行います。活用可能な物件については、創業希望者等に対してトライアルスペースとして貸し出しを行うことにより創業を支援するとともに、商店街の賑わいづくりにも取り組みます。同時に、関係者や有識者を集めたワークショップ等を開催することで、商店街の活性化に向けた道筋を見出していきます。
- ・創業予定者への相談支援をはじめ、直接的・間接的な支援を複合して展開することで、創業者件数の増加を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
店舗対策事業	継続	800千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・商工会と連携した創業スクールを開催します。
- ・商工会と連携し、よろず支援拠点の相談員を招聘した相談窓口を開設します。

4-2 農林業の振興

担当課:農林水産課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

担い手確保、生産性向上、農地保全など様々な活動により魅力と活力ある農業が行われている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
園芸の産出額	7.7 億円
畜産の産出額	4.1 億円
集落が取り組む共同活動件数	31 件

【指標の方向性】

・担い手の確保・育成に努め、米作から高収益な園芸作物への転換など構造改革を進めることにより農業産出額の向上に努めます。

・人・農地プランの取組、中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払交付金、棚田振興法による事業等を活用し生産活動や環境保全等に主体的に取り組む集落活動を推進します。

■基本事業の取組方針

基本事業 4-2-1 地域農業を支える人づくり

【めざす姿】

中核的な担い手の育成、新規就農者の確保のほか、集落営農の推進など多様な担い手の確保・育成が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
認定農業者新規認定件数(累計)	10 件
サポートチームによる新規就農者への営農支援(累計)	20 回
法人化を志向する農業者への相談支援(累計)	5 件

【指標の方向性】

農地の情報収集やマッチングなど新規就農者の確保に取り組むとともに、中核的な担い手の育成、女性の経営参画に努めます。また、集落営農組織の運営や農業法人への支援、企業参入、新規就農者、法人化志向農

業者に対して関係機関と連携し、経営発展を支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
新規就農者経営発展支援事業	新規	3,750千円
おおいた園芸産地づくり支援事業	新規	66,812千円
自給飼料基盤活用推進事業	新規	3,400千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・ファーマーズスクール受講生2組及び令和5年度よりカボスでの新規就農した参入企業が、計画どおり就農できるように、農地・施設の整備、県・JA等関係機関との定例会開催、支援策の共有を図るなど支援を継続して行います。
- ・農業従事者が減少する中、新たな担い手となる新規就農者の育成・支援策を講じます。

基本事業 4-2-2 魅力あふれるものづくり

【めざす姿】

地理的条件の強みを活かし、品目や産地の拡大、特色のある生産品目の産出、販路拡大等の取り組みが強化されている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積		7.0ha
家畜飼養頭数	和牛	270 頭
	乳牛	370 頭
	養鶏	400 千羽
	養豚	6,000 頭
環境保全型直接支払事業取組み件数		1 件
ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)		50 品

【指標の方向性】

- ・各関係機関と連携し、園芸団地づくり計画での推進品目であるトマト、キウイフルーツ等の生産振興に努めます。
- ・畜産業の振興は農業生産額の増加に寄与します。各畜産農家の規模拡大、経営安定化もあわせ各関係機関と連携強化を進めることで目標の達成を図ります。
- ・環境保全効果の高い営農活動を行う経営体を支援します。
- ・ふるさと納税制度を活用した販路の拡大に努め、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
園芸産地づくり計画策定・推進事業	継続	600千円
環境保全型農業直接支払交付金	継続	38 千円
国東半島宇佐地域世界農業遺産認定市町村支援事業	継続	1, 500千円
特定家畜伝染病防疫対策事業	継続	800千円
繁殖雌牛安定生産対策事業	継続	1, 470千円
後継牛能力向上対策事業	継続	240千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・引き続き作付面積の増加を図るとともに、新たに取り組む農業者の支援を継続していきます。
- ・ふるさと納税返礼品への登録について、生産者への働き掛けを行い、品目数の増加を図ります。
- ・新規作物として「白いスイートコーン」への支援を行い、日出町の新たな特産品化を図ります。

基本事業 4-2-3 活力ある地域づくり **重プ③**

【めざす姿】

生産活動に取り組める環境づくりが推進され、地域住民等との連携により農山村の多面的機能の保全が図られている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
「人・農地プラン」実質化件数		15 件
有害鳥獣駆除数(年間)	猪	540 頭
	鹿	170 頭
中山間地域直接支払事業取組み集落数(累計)		7 集落
多面的機能支払事業取組み団体数(累計)		9 団体

【指標の方向性】

- ・地区座談会等を開催し、地域住民主体による農地等の環境保全を推進するとともに地域の担い手育成を図ります。
- ・町猟友会との連携・支援により、継続して生産性・収益性に影響を及ぼす鳥獣害への対応を図ります。
- ・中山間地域の傾斜地等、条件不利地域で取り組む集落の共同活動を支援します。
- ・農地、水路、農道等の管理共同活動を行う団体を支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
有害鳥獣被害防止対策事業	継続	12,303千円
農地集積・集約化事業	継続	3,873千円
機構集積支援事業(農業委員会)	継続	3,711千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・令和 6 年度に策定された「地域計画」の随時更新を行います。
- ・多面的機能支払事業について、一部集落にて取組面積増加に取り組めます。

基本事業 4-2-4 生産基盤の保全・整備

【めざす姿】

生産・生活基盤の整備により、生産性の効率化や利便性の向上、災害に強い農山村づくりが図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
森林環境譲与税の有効活用による事業数	1 事業
防災・減災対策としての活用事業数	7 事業
土地基盤整備の新規取り組み地区数	1 地区
地籍調査実施進捗率	81.0%

【指標の方向性】

- ・新たな財源を活用し、防災減災対策にむけた森林事業に取り組めます。
- ・防災減災対策として国・県補助事業の活用を図ります。
- ・農業生産の基盤となる土地、水利条件等の整備を行います。
- ・各種事業の円滑な実施のため、早期に地籍の明確化を進めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
森林環境整備事業	継続	6,594千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・多面的機能支払交付金事業については地区数・実施面積の拡大を推進します。
- ・鳥獣被害対策事業については、日出町猟友会と連携しながら捕獲を実施します。
- ・土地基盤整備については柏川地区にて測量設計委託を実施する予定です。

4-3 水産業の振興

担当課:農林水産課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

良好な漁業環境の保全、資源管理漁業を推進し、生産性が高く持続可能な漁業が行われている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
漁獲量	168t
漁獲高	1.32 億円
1 経営体当たりの販売金額	7.5 百万円
【3 のサブ指標】大神市場における正・准組合員の平均水揚げ	150 万円

【指標の方向性】

・中間育成施設を利用したマコガレイ大型種苗(12cm)の育成・放流を継続して行うとともに、その他の魚種の種苗放流を実施し、水産資源の増大に努めます。

・漁獲量の増加を目指すとともに、イベント等での PR や地産地消の推進に努め、魚価の向上を図ります。

・漁業者所得の向上を推進するため、大神市場の活性化や資源管理型漁業の継続に加え、地産地消の推進、マコガレイ漁獲量の増大に取り組みます。

■基本事業の取組方針

基本事業 4-3-1 地産地消・消費拡大の推進 優先

【めざす姿】

各種イベントの開催や食育活動の推進などによる地場水産物の PR や魚食普及の取り組み、市場やふるさと納税制度などを活用した消費拡大の取り組みが促進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
魚介類消費拡大イベント参加回数(年間)	5 回
地場産魚介類消費拡大イベント開催数(年間)	5 回
市場情報発信回数(年間)	12 回
ふるさと納税返礼品数(水産物・漁業関係)	33 品

【指標の方向性】

・地元漁業者と協力してイベント等への出店を行い、PR 活動に取り組みます。

・町民を対象とした捌き方教室や魚の説明会、加工品開発などに取り組み魚の消費拡大を図ります。

- ・情報発信を行い、市場の知名度向上に向けた PR 活動を実施します。
- ・水産物や水産加工品の掘り起こしや観光との連携により、魅力ある返礼品づくりに取り組みます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・各種イベントについて、漁協と連携し実施します。
- ・市場情報発信について、毎月1回ホームページにて情報発信を行います。
- ・ふるさと納税返礼品について、漁協と政策企画課と連携し、返礼数を増やしていきます。

基本事業 4-3-2 魅力あふれるものづくり

【めざす姿】

資源管理型の推進により漁業消費者のニーズに応じた水産物の安定供給が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
マコガレイ放流尾数	20,000 尾
クルマエビ放流尾数	290,000 尾
ガザミの放流尾数	65,000 尾

【指標の方向性】

- ・マコガレイの中間育成を行い、12cmの大型種苗に成長させ、放流するとともに、漁業者を対象にしたアンケート調査を実施し漁獲量の把握を行います。
- ・クルマエビ稚魚の放流を行うとともに、放流籠等を利用し、効果的な放流を行います。
- ・ガザミ稚魚の放流を行うとともに、放流籠等を利用し、効果的な放流を行います。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
広域型増殖場中間育成事業	継続	5,349千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・中間育成施設について、緑色 LED を設置した効果を検証します。
- ・令和6年度成功したナマコの育成方法を改良し、生産数の増加を図ります。

基本事業 4-3-3 担い手の育成確保

【めざす姿】

意欲ある若者が新規参入し、継続して漁業に携わるための環境が整備されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
新規就業者数及び漁業後継者数(年間)	5 人
漁業 PR 活動回数(年間)	5 回

【指標の方向性】

・青年就業準備給付金の給付や長期研修に対する助成を行うとともに、関係機関と連携し、受け入れ先の確保に努めます。

・関係機関と連携し、学生や漁業に関心がある就業希望者・移住希望者などに対する情報発信に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
水産振興費	拡充	7,178千円

【令和 7 年度 取組方針】

・引き続き漁協や振興局と連携し、新規就業者数及び漁業 PR 活動回数の向上を図ります。

・就業希望者に各種制度の説明を行うなどきめ細かな対応を行います。

基本事業 4-3-4 漁港施設の維持管理**【めざす姿】**

漁港・漁場施設の計画的な整備や長寿命化・災害対策が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
漁港等老朽化対策対象施設数	0 施設
藻場の新規保全箇所数	1 箇所

【指標の方向性】

・老朽化が進む施設の長寿命化を図るため、計画的な点検・補修を行い、漁業就労者の労働環境改善につながる安全・安心な施設整備に取り組めます。

・魚の生息場所であるアマモ場の再生に向け、アマモの保全箇所数の増加に取り組めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
県営水産環境整備事業	新規	2,430千円

【令和 7 年度 取組方針】

・大神漁港札場物揚場工事および真那井漁港浚渫工事を実施します。

4-4 観光業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

魅力的な観光スポットを周遊でき、洗練された滞在プランが豊富な日出町に年間を通じて多くの人が訪れている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
観光消費額	70.0 億円
観光入込客数	130.0 万人
観光宿泊客数	27.0 万人

【指標の方向性】

・各関係機関と連携し、観光資源の魅力向上、情報発信に努めるとともに、通所から滞在・宿泊といった観光戦略を促進することで観光消費額の向上を図ります。

・本町の多彩な観光資源を最大限に活用することにより、本町の魅力を高めるとともに、観光情報の積極

的な発信や観光PR活動を充実させ、観光客の増加を図ります。

・宿泊客、滞在型観光客の増加を図るため、回遊ルートや参加・体験型観光プランの造成を観光事業者や

関係機関、近隣市町村との連携のもとで広域的に推進します。

■基本事業の取組方針

基本事業 4-4-1 効果的な情報発信

【めざす姿】

町の魅力を多様な媒体を通じて効果的に発信し、情報を受け取る側の観光消費意欲を向上している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
観光情報サイトアクセス数(年間)	280,000pv
観光消費(飲食・購買等)につながるコンテンツのサイト掲載数	150 ページ
観光パンフレットの設置箇所数(町内外を問わず)	100 箇所

【指標の方向性】

・町の魅力や様々な観光情報を、特にインターネット系メディアにて重点的に発信し、来訪欲求を高め

ます。

・観光消費につながるようなコンテンツを積極的に発信することで、地域経済の活性化につなげます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
観光振興事業	継続	15,434千円

【令和 7 年度 取組方針】

・フェリーや博物館での観光 PR を行います。

・町外の大型ホテル、レンタカー会社、道の駅など、観光客のニーズに合わせ情報発信を行います。

基本事業 4-4-2 コンテンツのブラッシュアップと造成

【めざす姿】

観光ニーズに沿った周遊型・滞在型・地域連携型の魅力ある観光プランの展開と、効果的な情報発信により来訪者が増えている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
観光滞在プラン(周遊、滞在、地域連携型)の商品化数	40 プラン
団体ツアー客誘致促進数	190 件

【指標の方向性】

・良質な日出町の自然環境の絶景スポットを「魅せる」、恵まれた町内外に誇れる海の幸、山の幸を「食する」、伝統ある歴史・風土を「体験する」を基軸として、新規体験型コンテンツ、新規ツアー商品を開発します。

・点在する観光スポットを点から線、線から面へと観光地の連結・形成を図り、さらに近隣市町村と広域連携し、周遊ルートの形成と観光プランを作成し、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
城下かれい祭り費	継続	12,000千円
ザビエルの道ウォーキング大会費	継続	700千円

【令和 7 年度 取組方針】

・インバウンドに向けたコンテンツの造成や情報発信を強化していきます。

基本事業 4-4-3 組織強化と連携

【めざす姿】

観光に関わる関係機関が共通の目標のもと一体となって、観光振興に取り組むことによって、来訪する人が増え観光業の振興が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ひじ町ツーリズム協会 会員数	200 団体
二の丸館販売コーナーの売上額	700 万円
観光拠点(二の丸館)年間来館者数	50,000 人

【指標の方向性】

・令和元年9月に一般社団法人化したひじ町ツーリズム協会との連携を強化することにより、組織の体質強化を図ります。

・観光振興と地域活性化を目的に日出町、ひじ町ツーリズム協会、日出町商工会等の関係団体が一体となり、地域全体で「観光おもてなし」体制の確立を図ることで目標の達成をめざします。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
ひじ町ツーリズム協会補助事業	継続	15,194千円

【令和 7 年度 取組方針】・土産品造成や魅力ある観光拠点となるよう関係団体と連携して取り組んでいきます。

・ツーリズム協会の経営面では、ふるさと寄附金事業の拡充などの取り組みを模索することにより、より良い団体となるよう支援していきます。

4-5 企業誘致と雇用の創出

担当課:まちづくり推進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

書く施策の充実により、多くの企業が立地し、企業活動の活性化が図られ、町内雇用も創出されている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
企業誘致件数(令和3～7年度の累計)		15 件
雇用創出数(①+②)累計		500 人
新規雇用予定者数①	※企業誘致(新設、増設)による新規雇用予定者数	—
新規雇用予定者数②	※半島振興法等に基づく支援による新規雇用予定者数	—

【指標の方向性】

・川崎工業団地周辺の土地等を活用した県外企業の誘致や町内企業の増設を推進し、町内企業間連携が生まれる環境を構築するとともに、経営力の強靱化が図られるよう取り組みます。

・企業誘致による雇用創出を図るとともに、法令等に基づく企業支援による新たな雇用を生み出し、雇用の場の確保と企業の業績向上に努めます。

■基本事業の取組方針

基本事業 4-5-1 企業誘致の推進 **重プ③**

【めざす姿】

企業情報の収集及び県外企業の訪問など、企業誘致へつながる取り組みが行われている。

【指標と目標値】

指標名		R7 目標値
企業訪問件数(再掲)累計		120 件
町 HP(適地情報)アクセス数(年間)		6,000 件
大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数(累計)		60 件

【指標の方向性】

・町内企業の増設予定等の情報収集、企業立地に関する分析調査を図るため、積極的な企業訪問を

実施します。

・町 HP の適地情報ページの改善を行うとともにアクセス数の増加を図り、県外企業の誘致につなげます。

・県や県外事務所と連携による企業訪問の実施及び企業実態の分析調査結果による効率的な県外企業訪問を展開し、誘致を推進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
企業立地推進事業	拡充	48,146千円
立地意向調査委託事業	新規	2,490千円
川崎工業団地造成附帯事業	新規	67,000千円

【令和 7 年度 取組方針】

・川崎工業団地北側用地造成にともない用地を売り込むため県外企業訪問を積極的に行います。

基本事業 4-5-2 雇用の場の確保 重プ③

【めざす姿】

雇用の拡大に直結する企業誘致が促進されるとともに、雇用関連施策等の情報発信を通じた雇用の場が確保されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
企業訪問件数(再掲)累計	120 件
広報紙による制度周知(再掲)	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(再掲)	10,000 件
法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数(累計)	70 件

【指標の方向性】

・法令等に基づく中小企業支援施策や雇用関連施策の活用を促すため、積極的な企業訪問を実施し、個別説明を行います。

・法令等に基づく中小企業支援施策や雇用関連施策の活用を促すため、広報紙等を通じた制度周知に努めます。

・半島振興法や生産性向上特別措置法等を活用する事業者を増やし、設備投資等を促すことで雇用の場の確保に取り組めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
日出町シルバー人材センター支援事業	継続	6,036千円

【令和 7 年度 取組方針】

・川崎工業団地北側用地造成にともない用地を売り込むため県外企業訪問を積極的に行います。

政策5【自然・生活環境】 自然と都市機能が調和したまちをつくる

5-1 生活・自然環境の保全

担当課:住民生活課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

人と自然が共生する緑豊かな美しいまち

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
自然が保全されていると考える町民の割合	85.0%
町民 1 人あたりの 1 日あたり家庭ごみ排出量	518g

【指標の方向性】

- ・美しく豊かな自然と共存・共生する生活環境や暮らしを本町の文化として将来にわたり引き継ぐために、環境保全意識の高揚を図り、町民・事業者・行政が一体となった体制づくりを進めます。
- ・分別の徹底と食品ロス削減の取り組みを進め、家庭から出るごみの排出量の削減を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 5-1-1 環境保全対策の推進 **優先**

【めざす姿】

公害の未然防止と環境保全に向けた施策が計画的に推進されることにより、行政、町民、事業者、それぞれにおいて環境保全の取り組みが進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
公共用水域の環境基準(BOD・COD)達成率	100%
生活排水処理率	86.1%
SDGs ネットワーク登録者数(累計)	50 人
町施設の電気使用量と電気使用料金(年間) (削減目標)	2,600,000kw 54,427 千円

【指標の方向性】

- ・町民・事業所への周知啓発を図るとともに、合併処理浄化槽の普及促進や公共下水道の整備推進を図り、水質の保全を図ります。
- ・体験型エコワークショップ等を開催し、町民、事業所、行政が一体となり循環型社会の形成に向けた取り組みについて検討を進めます。

・環境負荷の少ない設備の導入と、再生エネルギーの活用、節電対策を徹底し、目標達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
二酸化炭素排出抑制対策事業	拡充	2, 696千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・浄化槽台帳整備のため大分県より法定検査未実施浄化槽管理者に対して適正管理に係る指導通知を一斉送付予定であり、問い合わせが多数寄せられることが予測されるため、転換に繋がります。
- ・EV車両を公用車として購入します。
- ・公共施設への再生可能エネルギー施設導入について検討を行います。

基本事業 5-1-2 ごみの減量とリサイクルの推進

【めざす姿】

ごみの減量化に向け4R 運動の必要性について周知・啓発の取組が進み、町民意識が高揚し、町民・事業者双方でごみの減量とリサイクルに向けた取り組みが推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
資源化(リサイクル)率	10.0%
搬入ごみ展開検査実施回数(年間)	3 回
広報等による啓発回数(年間)	6 回

【指標の方向性】

- ・分別指導の徹底及び啓発等により、達成をめざします。
- ・藤ヶ谷清掃センターと連携して、定期的にごみの展開検査を実施し、ごみの分別状況を確認し、実態把握と不適正事案への指導を行います。
- ・町民の分別状況を踏まえ、広報等で適正な分別について周知を行い、資源化率の改善を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
ごみ減量化推進事業	継続	1, 326千円
一般廃棄物処理対策事業	継続	294, 924千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(後期計画)を公表し、令和8年度当初より粗大ごみ収集運搬手数料の料金設定を行うための準備を行います。塵芥手数料の変更については、混乱が発生しないよう注意し進めていきます。
- ・リユースや資源回収を促進させるため、引き続き、循環型社会形成に取り組む事業者との連携を拡げます。

基本事業 5-1-3 生活衛生の推進

【めざす姿】

町民意識が向上することで、より快適で衛生的な生活環境となっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
生活衛生(ペット、野焼、騒音、悪臭等)に関する年間苦情件数(削減目標)	50 件
狂犬病予防注射率	58.0%

【指標の方向性】

- ・指導啓発、関係機関との連携強化により苦情件数の減をめざします。
- ・勸奨と周知啓発を推進することにより、目標の達成をめざします。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
猫の不妊・去勢手術費補助金	継続	250千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・地域猫団体の活動状況を確認し、適切な管理を行うよう指導します。
- ・生活衛生に係る関係機関(町内動物病院、動物愛護センター、大分県環境管理協会、廃棄物収集運搬処理業者等)と連携を密にし、指導及び周知啓発を行うことで苦情件数減少を目指します。
- ・関係機関との連携を強化し、指導及び周知啓発を強化します。
- ・持続可能な環境保全のため、適切な廃棄物処理を行う必要があることから、手数料を改定します。

5-2 良質な水道水の安定供給

担当課:上下水道課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

いつでも安全で良質な水道水を利用できている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
上水道有収率	83.0%

【指標の方向性】

・安定した水道水の供給のため、老朽管の計画的な布設替えと漏水調査の効果的な実施により有収率の向上を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 5-2-1 安全な水の安定提供 優先

【めざす姿】

原水から給水に至る一貫した監視と水質管理が行われ、老朽化した施設の更新が進み、安定して良質な水が供給されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
給水原価	106 円
老朽管の更新率	1.30%

【指標の方向性】

・給水原価については 2.2 ポイント悪化しているが、これは、職員数の減や電気料金の入札による動力費が減少するものの、老朽施設の更新にかかる調査費等が増額となるためです。

・計画に基づく老朽管更新事業を進め、老朽化の進行を抑制し、水準維持に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

・経費節減に有効な民間連携活用を検討するため、W-PPP導入可能性調査を実施します。

・継続し老朽管布設替の延長は伸ばしていきたいが、維持管理に係る収支状況を注視しつつ、極力使用料金に反映させないよう努めていきます。

基本事業 5-2-2 水道施設の強靱化

【めざす姿】

地震等の自然災害や不測の事態などに備え、ライフラインである水道施設の強靱化が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
耐震化実施施設数(累計)	8 施設

【指標の方向性】

基幹施設のほか、給水区域内における重要給水拠点に連絡する基幹管路から優先度をつけて耐震化に取り組みます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・三尺山高架水槽について、用地取得が完了し本年度着手を予定しています。
- ・小田城第 2 配水池(耐震診断は終了)について、実施設計を行います。

5-3 汚水処理の推進

担当課:上下水道課・住民生活課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

生活排水が上下水道や合併処理浄化槽によって適正に処理され、海や川が美しく保たれている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
水洗化率	76.8%
水洗化人口	21,190 人

【指標の方向性】

公共用水域の水質保全のためには、公共下水道、漁業集落排水、農業集落排水及び合併処理浄化槽による総合的な汚水処理の推進が必要です。各生活排水処理施設の適正な維持管理及び接続率、設置率向上に努めます。

■基本事業の取組方針

基本事業 5-3-1 生活排水処理施設の整備

【めざす姿】

効果的・効率的な下水道整備と接続率の向上、区域外への合併処理浄化槽設置促進により、生活排水の適正処理が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
生活排水処理率	86.1%
下水道接続率	83.3%

【指標の方向性】

・公共下水道については整備区域の見直しを行い、効率的に整備を進めるとともに、老朽化した施設の更新や計画的な耐震化対策を講じます。

・整備区域外については水質保全の必要性を啓発し、合併浄化槽設置促進を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
合併処理浄化槽設置整備事業【住民生活課】	継続	11,745千円

【令和 7 年度 取組方針】

・令和12年度の概成を考慮しつつ計画的に整備を進めるとともに、地元説明会等を開催し接続への理解を求めます。

基本事業 5-3-2 健全な下水道経営の推進 優先

【めざす姿】

企業会計の導入に伴い、多角的な経営分析と適正な受益者負担により安定的に下水道事業が運営されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
経費回収率(公共・漁集・農集事業の計)	113.3%
汚水処理原価(公共・漁集・農集事業の計)	150.3 円／m ³

【指標の方向性】

下水道施設の更新や人口減少に伴う使用料収入の減少等の課題に対して、経営戦略を見直し、経営状況の正確な把握に努め、今後の健全かつ継続的な事業経営を目指します。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・経費の削減努力は引き続き行い、料金改定を実施し安定した経営運営を行います。
- ・国の支援事業を活用しW－PPP導入可能性調査検討業務を委託し、より安定した運営ができる民間連携の調査、検討を行います。

5-4 快適な都市機能の充実と景観まちづくりの推進

担当課:都市建設課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

計画的な土地利用によって、自然と都市機能が調和したまちが形成され、安心して快適に暮らせるまちとなっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う町民の割合	70.0%
土地政策・道路整備等の誘導施策に伴い新築された住宅数 (R3～7年度累計)	100 戸

【指標の方向性】

- ・都市計画等の各種計画に基づく誘導等を図ります。
- ・戦略性を持った土地利用方針に基づき、宅地開発や企業立地等のニーズを十分に踏まえた計画的な道路整備を行う事により目標の達成を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 5-4-1 都市計画街路・町道などの整備 **重プ②**

【めざす姿】

効率的効果的な道路整備により、宅地開発や企業立地が促進され、町の賑わいが創出されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
都市計画路の整備率	62.1%
町道改良率	70.0%
橋梁長寿命化整備数(累計)	21 箇所

【指標の方向性】

- ・地域拠点を結ぶ生活軸は、常生活圏と中心市街地を結ぶ暮らしを支える重要な軸のため、既存道路の改良や計画的な整備を行います。
- ・中心市街地内の道路では、歩道の未整備など、安全な道路空間が不足しているため、引き続き整備を推進するとともに既存ストックの定期点検を実施し、長寿命化整備等を計画的に行います。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・補助事業で、平原新貝深江線、鹿倉線、榎竹光線、早水台線の整備を継続して行います。
- ・20橋の点検を行います。
- ・要望を受けた箇所の舗装打ち換え、法面对策、排水対策、狭小区間の拡幅を行います。
- ・要望を受けた箇所の道路修繕を随時行います。

基本事業 5-4-2 計画的な土地利用と市街地整備の充実 **重プ②**

【めざす姿】

効率的かつ効果的な土地利用が推進され、公園づくりや公園環境の充実が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
都市計画における土地利用の誘導策となる計画の策定	1 個
まちづくりワークショップの開催(年間)	1 回
公園の設備に満足している町民の割合	70.0%
糸ヶ浜海浜公園の利用者数(年間) ※宿泊客・日帰り客の合算	46,900 人
豊岡公園の整備率(括弧内は整備エリアの整備率)	11.8% (100%)

【指標の方向性】

・自然環境や地域の特性を活かし、都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画の全体見直しや、景観計画や立地適正化計画の策定検討を行うことにより、住宅地開発、企業誘致等の規制、誘導を進め、良好な居住環境を整備します。

・共創のまちづくりの理念に則り、地域の様々な立場の人が参加して、まちづくりの課題や方向性について検討します。

・当面は豊岡公園(総合公園)の整備を推進します。豊岡公園は、自然に親しめる空間として、整備を推進するとともに、災害時の防災拠点機能を担う公園として、その整備を推進します。また、地域住民と連携し、町内の公園施設の適正な維持管理に努めるとともに遊具施設の点検を継続して行うことで公園施設の機能保全を行います。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
都市計画総務費	拡充	35,226千円

【令和 7 年度 取組方針】

・豊岡公園の園路整備については、防災拠点として機能を発揮する事から国土強靱化5カ年計画(～令和 7 年度)と絡める形で重点化し整備を促進します。

・立地適正化計画を策定します。(策定業務期間:令和7年度～令和8年度)

基本事業 5-4-3 景観まちづくりの推進

【めざす姿】

快適な住環境を確保するため、景観形成・保全の取り組みを進められている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
景観計画に基づく運用協議会開催数(年間)	1 回

【指標の方向性】

・日出町の美しい自然景観や田園風景、歴史景観などを守り、活用するまちづくりに取り組むため、景観計画を策定するとともに定期的な協議会を開催することで、適正な運用に努めます。また、令和 7 年度までに景観条例制定をめざします。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・景観条例を4月より施行します。
- ・景観計画区域における良好な景観形成を図ることを目的とし、景観行政団体、景観重要公共施設の管理者、景観整備機構で「景観協議会」を設置することが出来るため、必要に応じて協議を行います。

基本事業 5-4-4 空き家対策

【めざす姿】

老朽危険家屋の取り壊しが適切に行われ、空き家や空き店舗の利活用が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
老朽危険家屋の除去件数(累計)	15 件
空き家バンク物件成約件数(H28 以降の累計) ※数値はいずれも年度末時点	130 件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催回数(年間)	2 回

【指標の方向性】

- ・火災の危険性や倒壊のおそれなどの安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等の問題がある空き家については補助制度を活用した所有者折衝を継続し、年平均2件の除却をめざします。
- ・空き家バンクの利用を促進するため、利用登録者及び物件の確保に取り組みます。
- ・地域の賑わいを創出するため、関係者を集めた協議会を開催するとともに、先進事例の研究等も参考にしながら、空き家・空き店舗等の利活用を進め、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・令和元年度に行った調査を基に、危険な空き家の所有者及び管理者に対して情報提供を行い、補助金を活用しながら目標達成に努めます。
- ・適切な予算の確保を行います。

基本事業 5-4-5 公営住宅の適正な管理

【めざす姿】

町営住宅を適切に維持管理や改善することで入居者が安心して生活できる場所が確保され、住宅ストックの適正化が行われている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町営住宅入居率	92.0%
町営住宅管理戸数	230 戸

【指標の方向性】

- ・町営住宅の適正な維持・管理を進め入居率の改善を図ります。
- ・長期予測に基づき町が運営すべき適正な住宅管理戸数を算定します。
- ・長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図るとともに、民営住宅の活用についても積極的に検討を進め、管理戸数の適正化とトータルコストの縮減に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・日出町公営住宅等長寿命化計画に基づいた計画的な修繕並びに日常点検結果に応じた適切な修繕等を実施することで居住性・安全性の向上を図ります。
- ・耐用年数を経過した町営住宅(市ノ原、青津山、藤原)の入居者に対し、耐用年数を経過していない町営住宅等への移転促進を計画的に図るとともに住宅の用途廃止に取り組むことで、管理戸数の適正化を図ります。

5-5 公共交通の充実

担当課:まちづくり推進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

どこに住んでいても不自由なく利用できるサービス性の高い公共交通網が確立されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町内の公共交通に満足している町民の割合	70.0%
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	1,000 円

【指標の方向性】

- ・町内のどこに住んでいても不自由なく移動ができるサービス性の高い公共交通網を確立することで指標の達成をめざします。
- ・今後の厳しさを増す財政状況や車社会の進展・人口減少・高齢化社会の進行を踏まえ、費用対効果の高い持続可能な公共交通網の確立を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 5-5-1 地域内交通網の充実 重プ②

【めざす姿】

将来にわたり、町内のどこに住んでいても不自由なく利用できる公共交通網が確立されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
交通不便地域残存数	0 区
地域内フィーダー交通年間利用者数	50,000 人
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	1,000 円

【指標の方向性】

- ・交通事業者や地域の関係者との連携により、ドアツードア方式のコミュニティ交通の導入等により交通不便地域等を解消し日常生活に必要な交通ネットワークの確立を図ります。
- ・だれもが将来にわたり身近な場所で安心して暮らし続けることができる、便利で優しく、まちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークの構築を目指します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
コミュニティバス運行事業	継続	7,912千円
デマンド型地域公共交通運行事業	継続	13,358千円

【令和 7 年度 取組方針】

・公共交通の公聴会ではデマンド交通の改善を要望されているため、デマンド交通の改善に向けた事業を構築していきます。

基本事業 5-5-2 広域交通網の利用促進 重プ②**【めざす姿】**

広域交通(JR・幹線系統バス)の利用環境が高まり、多くの町民が通勤・通学等で利用している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町内 JR 駅平均乗車人員(JR 九州公表資料)	2,400 人
地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数	20 箇所

【指標の方向性】

- ・JR 九州と連携して各駅のハード・ソフト両面の環境整備を行うとともに、町内交通網の各駅へのアクセス性を高めることにより、目標の達成をめざします。
- ・公共交通機関を使用した町外への移動を容易にするため、町内交通と幹線系統バスの交通結節点を増やすことにより、目標の達成をめざします。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
公共交通関係振興事業	継続	10,773千円

【令和 7 年度 取組方針】

・公共交通の公聴会ではデマンド交通の改善を要望されているため、デマンド交通の改善に向けた事業を構築していきます。

政策6【人権・協働】人のつながりを大切にするまちをつくる

6-1 人権を尊重する社会づくり

担当課:住民生活課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

町民一人ひとりが人権意識を高めながら、偏見や差別のない人権尊重の社会づくりに主役として参加している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
人権が尊重されていると思う町民の割合	88.0%
人権に関する講演会や研修会に参加したことがある町民の割合(累計)	50.0%

【指標の方向性】

- ・幸福な生活を営む上で、互いの人権が尊重されているという意識は大切な指標です。偏見や差別のない人権尊重施策の推進に努めます。
- ・人権意識を高め、理解を深める機会として、町が進める偏見や差別のない人権尊重の社会づくりに主役として参加する町民の増進に努めます。

■基本事業の取組方針

基本事業 6-1-1 生涯学習の視点に立った人権教育の推進

【めざす姿】

町民の人権意識、学習ニーズに応じた様々な学習機会が提供され、人権尊重意識の定着と人権についての理解が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数(年間)	20 回
町が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数(年間)	1,200 人

【指標の方向性】

生涯学習の視点から、職場や学校、地域や家庭などあらゆる場において人権について正しい理解が深まるように、体系的に学習する機会を提供し、各種団体との連携に努めます。

【令和 7 年度 取組方針】

・具体的な講演会・研修会の啓発事業は、日出町人権教育・啓発推進本部、人権教育啓発推進協議会、人権フェスティバル実行委員会等で検討し、実施します。

基本事業 6-1-2 あらゆる場における人権教育・啓発の推進 優先

【めざす姿】

日常生活の様々な場面で、効果的な人権教育と啓発が図られ、人権尊重意識の定着と、人権についての理解が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
広報紙・町ホームページでの啓発の回数(年間)	30 回
特定の職業に従事する者への研修の開催数	10 回

【指標の方向性】

- ・町民が様々な人権課題について誠実な関心が芽生えるように、日頃の生活で人権の大切さの「気づき」につながる啓発に努めます。
- ・行政職員、教職員、保育施設職員、消防職員、医療関係者、福祉保健関係者、民生委員・児童委員などへの人権研修の充実に努めます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
人権推進差別解消啓発事業	継続	16,068千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・町ホームページや町SNSを活用して、啓発活動を推進します。
- ・杵築速見消防組合など各種組織・団体との連携を検討して、専門職の研修を進めます。

基本事業 6-1-3 男女共同参画社会の推進

【めざす姿】

固定的な性別役割分担意識が解消に向かい、仕事と生活の調和や、女性の活躍の促進が図られるとともに、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた町民の意識が醸成されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない町民の割合	70.0%
町の審議会等における女性委員の割合	40.0%

【指標の方向性】

- ・性別に基づく固定的な役割分担意識の解消に向けた広報・啓発に取り組みます。
- ・さまざまな分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大を推進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
男女共同参画事業	拡充	400千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・住民への啓発について、従前の街頭啓発に加えて、新しく町ホームページに記事を掲載や町SNSでの情報発信に取り組みます。
- ・第3次日出町男女共同参画社会推進基本計画策定にともない意識調査を実施します。
- ・男女共同参画推進本部会議や審議会で、女性役員の割合の対策を検討します。

6-2 町民とともに創る持続可能なまちづくり

担当課:まちづくり推進課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

若い世代が魅力を感じ、「移住したい。住み続けたい」と思う「ふるさと日出」になっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
まちづくり協議会(推進組織)の設立件数	6 件
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数 (年間)	6 団体

【指標の方向性】

・新たな公共の担い手としての役割を果たす「中間支援組織」としての推進組織等を、小学校区等生活圏で結びつきが強い区域毎に構築し、新機軸に基づくまちづくり推進や共創の体制づくりに取り組みます。

・多様な担い手による地域づくりを推進するため、各種の団体の活動を支援していきます。

■基本事業の取組方針

基本事業 6-2-1 共創のまちづくりを進める仕組みづくり **重プ①**

【めざす姿】

持続可能なまちづくりを推進するために、町民意識の醸成、人材育成に必要な情報提供を充実させ、共創のまちづくりが、町民から認識されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数(年間)	3 回
「共創のまちづくり」について必要と感じている町民の割合	90.0%

【指標の方向性】

人口減少や高齢社会が進行し、単独の集落では地域活動の維持が困難になっている地域も生じていることから、生活圏において結びつきが強い複数の集落をネットワークで繋げ、互いに補い合うことができる仕組みの構築を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
自治区・区長会支援事業	継続	31,022千円
共創のまちづくり支援事業	継続	900千円

【令和 7 年度 取組方針】

本町においては、課題解決型かつ地域自主運営のネットワークコミュニティについて、住民感覚にあまりなじみがなく、「地域振興型の取り組み」に住民が参画する手法の方が理解を得やすいのかもしれない、という県の指摘もあり、当面は「県総合補助金」などの地域振興系の事業を展開し、地域の活性化を模索します。

基本事業 6-2-2 町民が主体となった地域づくり組織の育成・支援 **重プ①**

【めざす姿】

新たな地域づくり組織の育成に向けて推進体制の強化が図られ、各地区でまちづくり協議会などの地域自主運営組織の育成が進んでいる。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
校区別まちづくり計画の策定数(累計)	6 件
まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数(累計)	6 団体
地域おこし協力隊・集落支援員の配置数	延べ 6 人

【指標の方向性】

・誰もがいつまでも安心して暮らすことができる地域社会をつくるために、これまでの既存組織を「ヨコ」につなぎ、「共創のまちづくり」を推進します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
地域おこし協力隊事業	継続	9,800千円

【令和 7 年度 取組方針】

・課題解決(持続可能な地域づくり)よりも振興施策(新たな魅力創造など)推進の方が有効であるのか、多様な主体の意見等も分析の上、方向性・手法等を可視化していきます。

基本事業 6-2-3 多様な担い手による地域づくりの推進

【めざす姿】

地域外の方による新たな視点や若者の行動力による地場産品の開発、PRに加え、既存の団体が取り組む活動をリニューアルされ、地域が活性化している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
高校・大学・企業等との連携事業数(年間)	3 事業
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	6 団体

【指標の方向性】

町民が主体的に地域課題の解決に取り組むため、公的不動産、民間施設等も含めた地域資源や多様な人材を活用し、地域の実情に合った解決への取り組みを支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
共創のまちづくり支援事業	継続	900千円

【令和 7 度 取組方針】

・立命館アジア太平洋大学の南端振興については、全町的なサードプレイス構築など、教育的な意義もあるため継続支援します。

基本事業 6-2-4 「公共私」連携と「公」の広域化の推進**【めざす姿】**

地域を基盤とした新たな「共」の役割を担う組織・団体等の結びつきが強化されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数(累計)	5 事業
他市町村との広域連携に基づく新たな取り組みの数(累計)	5 件

【指標の方向性】

地域で活動する多様な主体(自治会、NPO、企業等)が参画する協議の場(プラットフォーム)を通じ連携・協働する環境を整備し、まちづくりや地域福祉など、地域の暮らしを守る取り組みを支援します。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
EV カーシェアリング事業	新規	264千円

【令和 7 年度 取組方針】

2050 年カーボンニュートラルの実現を目的として、EV チャージを整備し、EV 公用車のカーシェアリングを実施します。

6-3 移住・定住施策の推進

担当課:まちづくり推進課、政策企画課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

若い世代が魅力を感じ、「移住したい。住み続けたい」と思う「ふるさと日出」になっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
移住促進策による移住者数(年間)	70 人
人口の社会増加数(年間)	170 人

【指標の方向性】

・魅力のあるまちづくりに取り組み、補助金の活用(転勤・就学等での移住を除く)での転入者増加を目指します。

・移住希望者・町民に「住みたい」「住み続けたい」と感じていただくため、あらゆる施策分野において、人口の社会増加につながる対策を講じます。

■基本事業の取組方針

基本事業 6-3-1 情報発信と移住支援体制の強化

【めざす姿】

ホームページやガイドブックなどを活用した町外への情報発信や、移住希望者からの相談体制の整備が進み、移住体験施設・ツアー構築、移住者の居住の受け皿となる空き家バンクの物件が充実することで、日出町に移住する若者が増えている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町 HP 年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)	40,000pv
移住促進施策による年間移住者数	70 人
空き家バンク物件登録件数(累計)	150 件
空き家バンク成約件数(累計)	130 件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数(年間)	2 回

【指標の方向性】

・都市圏からの移住希望者や UIJ ターン促進に向けた情報発信を強化するため、町 HP や SNS、また各種メディアを活用した情報発信を行うとともに、オンライン移住相談などアフターコロナを見据

えた移住支援体制を構築します。

- ・空き家バンクの利用を促進するため、利用登録者及び物件の確保に取り組みます。
- ・地域の賑わいを創出するため、関係者を集めた協議会を開催するとともに、先進事例の研究や町内ロールモデルの発信により、空き家・空き店舗等の利活用を進め、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
移住・定住促進事業	継続	10,160千円

【令和 7 年度 取組方針】

社会的に孤立している方々への移住相談にも丁寧に取り組みます。なお、居住支援(住宅セーフティネット)の推進にも、町内不動産事業者・法人等と連携して取り組んでいきます。

基本事業 6-3-2 「しごと」を創出し、「ひと」を誘致する

【めざす姿】

町内事業者に対する支援、雇用の場を創出する企業誘致の推進、地域資源を活用した観光振興などの取り組みが進み、移住希望者・町民が、「住みたい」「住み続けたい」と感じるまちになっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町内事業所数(累計)	1,200 件
雇用創出数(累計)	500 人
人口の社会増加数(年間)	170 人

【指標の方向性】

- ・ハローワークの求人情報や県内企業情報誌等を積極的に活用し、UIJ ターン者への情報提供に努め、定住促進につなげます。
- ・産業振興や企業誘致に取り組むことで安定的な雇用を創出し、町外からの転入を促すとともに、転出を抑制します。

【令和 7 年度 取組方針】

- ・雇用の創出が生まれるよう、4-5「企業誘致と雇用の創出」に紐づく事務事業に取り組みます。

基本事業 6-3-3 日出町のファン獲得 重プ①

【めざす姿】

ふるさと寄附金の推進ならびに SNS を活用した町の魅力発信を行うことにより、日出町のファン（寄附者およびフォロワー）獲得につなげている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ふるさと寄附金の寄附件数(寄附金額)	40,000 件 (10 億円)
町公式 SNS フォロワー数	10,000 人

【指標の方向性】

- ・ふるさと寄附金を推進し、町を応援してくれる「関係人口」の創出・拡大に努めるとともに、返礼品となる地場産品の掘り起こしを行い、産業振興につなげていきます。
- ・SNSを活用した町の魅力発信を効果的に実施することにより、フォロワーの獲得にもつなげていきます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
ふるさと寄附金事業	継続	499,942千円

【令和 7 年度 取組方針】

- ・本町の貴重な一般財源(基金等)であるため、引き続き注力していきます。

政策7【行財政運営】生活に役立ち信頼される行政をつくる

7-1 効率的で効果的な行政運営

担当課：総務課、政策企画課等

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

職員一人ひとりが経営意識をもって仕事に取り組むことによって、費用対効果の高い行政サービスが展開されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
総合計画（各施策の成果指標）の向上割合（対前年度値）	80.0%
全施策の町民満足度平均	1.80pt

【指標の方向性】

・行政評価の結果を改善につなげるPDCAサイクルの実施を徹底することで、達成率の向上を図ります。なお、社会情勢の変化等により指標に変更の必要が生じた場合、取組み及び目標指標を随時見直ししていきます。

・町民アンケートの結果で重要度が高いにも関わらず満足度が低い施策を重点的に推進することで町民満足度の向上を目指します。

■基本事業の取組方針

基本事業 7-1-1 経営感覚のある行政運営

【めざす姿】

PDCAサイクルが確立され、成果志向型での行政経営が推進されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
後期基本計画(基本100事業)の事務事業評価実施割合	100.0%
行政評価の結果を次年度に反映した基本事業の割合	100.0%
基本事業の目標指標の向上割合(対基準値)	80.0%
国県等補助事業の活用割合(補助事業数/全事業数)	40.0%
業務最適化計画に位置付けられた取組の進捗度	100.0%

【指標の方向性】

- ・毎年度、全基本事業の事務事業評価を実施することで PDCA サイクルによる改善を図ります。
- ・行政評価の結果を町政推進指針にまとめ、予算編成や人事評価に反映する仕組みを確立させることで職員の「成果指向」の意識を高めます。
- ・行政評価の手法として、外部評価を取り入れることで、町民ニーズを正確に把握し、事務事業の有効性や効率性を適宜見直すことで成果向上を図ります。
- ・競争資金や地方創生推進交付金、交付税制度等の活用を積極的に研究することで財源の確保に努めます。併せて、全庁的な業務改善計画を策定し、民間サービス・民間技術の活用をより多くの分野で進め、機構の見直し等を実施し組織・人員の最適化を図ります。

基本事業 7-1-2 デジタル行政の推進 優先

【めざす姿】

ICTの活用で、行政サービスの利便性が向上するとともに、申請情報のデジタル化と併せ基幹システム等関連システムの環境整備を行うことによって事務処理の効率化が進められている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
マイナンバーカード交付率	90.0%
電子化した行政手続き数	40 手続き
電子申請による行政手続きの年間申請件数	16,000 件
DX 推進計画に位置付けられた取組の進捗度	100.0%

【指標の方向性】

- ・マイナンバーカード利活用事業の実施やカード交付体制の充実を図り目標達成を図ります。
- ・町民ニーズの高い行政手続きの電子化と併せ、町公式 SNS 等を活用したプッシュ型通知サービスや証明書類のコンビニ交付等、町民目線に立った利用環境の整備により目標達成を図ります。
- ・行政事務のさらなる効率化を図るため DX 推進計画を策定し、効果の大きなものから順次実行していきます。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
DX 推進事業費	拡充	7,406千円
個人番号カード交付事務事業	継続	24,489千円
コンビニ交付サービス事業(戸籍住民基本台帳費)	継続	86,515千円

基本事業 7-1-3 広域行政の推進

【めざす姿】

広域連携方式が積極的に検討、推進され、町民サービスが効率的、効果的に提供されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
大分都市広域圏連携事業の実施数(特別交付税措置対象事業:累計値)	10 事業
国東半島地域広域連携促進事業の実施数(累計値)	5 事業

【指標の方向性】

・周辺自治体と、人口減少などの行政を取り巻く多くの課題を共有するとともに、広域によるスケールメリットを生かした施策展開と事務の効率化をめざします。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
大分都市広域圏連携事業	拡充	1,765千円

基本事業 7-1-4 町民から信頼される職員と効率的・効果的な体制づくり

【めざす姿】

業務が迅速かつ的確に遂行され、説明責任が果たせる効率的機能的な組織体制となっており、職員の自発的な取り組みと組織的な育成が相まって、職員全体の力量が高まっている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
職員全体の接遇が適切だと思う町民の割合	85.0%
大分県や自治大学校、民間企業などへの派遣研修や人事交流の実施	2 人
職員の仕事における満足度	80.0%
年次有給休暇が5日未満だった職員(新採用職員等除く。正規職員のみ) (削減目標)	25 人
超過勤務が月45時間超又は年360時間超に該当する職員(削減目標)	15 人

【指標の方向性】

・窓口や電話対応の改善が図られているか町民アンケートにより点検を行います。

・勤務能率の発揮及び増進のために研修の充実を図るとともに、人脈の構築や経営感覚等幅広い視野を持った職員の育成に繋がります。

・職員の仕事における満足度の向上は、町民サービスの向上につながり、ひいては町民の役場に対する満足度の向上に繋がるため、職員の働きがいのある職場環境の改善に努めます。

・機構改革や適材適所の人員配置、アウトソーシングやICT等を活用した業務の省力化など効率的且つ効果的な体制整備を図るとともに、全庁的な働き方改革を進めることにより、目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
日出町職員人材育成事業	拡充	1,432千円

7-2 持続可能な財政運営

担当課:財政課等

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

人口減少、少子高齢化社会に対応し、安定的な財政運営を堅持している。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
財政調整基金残高(R7年度末)	12.0 億円
町債残高(一般会計分で臨財債を除く)	51.5 億円

【指標の方向性】

- ・歳入確保・歳出削減の両面において取組みを進め、目標額12億円(標準財政規模の約2割)の達成を図ります。
- ・地方債の効果的な活用に努めるとともに実質借金を抑制し、プライマリーバランスの健全化を図ります。

■基本事業の取組方針

基本事業 7-2-1 税収等による歳入確保

【めざす姿】

税や使用料等の収納率が向上するとともに、ふるさと納税制度の活用がすすみ積極的な歳入確保が図られている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町税収納率	99.0%
町営住宅使用料収納率(現年度分)	98.0%
給食費収納率(現年度分)	99.7%
ふるさと納税額(年間)	10 億円

【指標の方向性】

- ・町税の収納率向上を図るために、滞納処分を適切に実施するとともに、納税環境の整備を促進します。
- ・使用料や手数料等については、適正な受益者負担基準に基づき、料金を設定するとともに、滞納者への督促等に努めることで成果向上を図ります。
- ・地場産業を活性化し、更なる寄附金の増額を推進するため、ポータルサイトの見直しやプロモーションの拡充、返礼品の充実により目標の達成を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
ふるさと寄附金事業	継続	499,942千円

基本事業 7-2-2 健全な財政運営の推進 優先**【めざす姿】**

社会情勢や町民ニーズの変化を踏まえた事務事業の点検と効果的な予算配分が行われ、歳入規模に見合った適正な財政構造が確立され、災害等の緊急時に備えるための基金が適切に確保されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
経常収支比率	95.0%
減債基金残高	5 億円
財務諸表閲覧数(町 HP)	622pv

【指標の方向性】

- ・PDCA サイクルを不断に実行することにより義務的経費の縮減に努め財政健全化を図ります。
- ・中長期的な財政予測を基に基金を積み増し、元利償還金の平準化に努めます。
- ・町の財政状況を多様な媒体により町民にわかりやすく開示することで目標の達成を図ります。

基本事業 7-2-3 公共施設等のマネジメントの推進**【めざす姿】**

公共施設等での町民サービスを継続するため、計画的な施設改修・更新の財源確保及び改修が行われている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
個別施設計画策定数（累計）	15 施設
ライフサイクルコストに基づく適切な施設使用料が設定されている施設数（累計）	11 施設

【指標の方向性】

- ・個別施設計画に基づいてライフサイクルコストの平準化・最小化を図ります。
- ・統一的な公共施設の受益者負担に関する基本方針及び実施方針を策定し、料金改定を図ります。

基本事業 7-2-4 国民健康保険・介護保険制度と下水道事業(企業会計)の健全運営

【めざす姿】

独立採算の原則に基づき、財源の確保と事業運営の効率化が図られ、保健・介護事業や上下水道事業が安定的に運営されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ジェネリック医薬品使用率(国保・年間)	80.0%
国民健康保険税収納率(現年度分)	94.5%
被保険者1人当たり医療費(現年度分)	439,000 円
介護保険料現年分収納率(現年度分)	99.3%
被保険者1人当たりの介護給付費(年間)	329,000 円
下水道企業会計への一般会計繰出金(年間)	271,688 円

【指標の方向性】

- ・ジェネリック医薬品の使用促進に係る周知啓発を推進し、医療費の抑制を図ります。
- ・町税の収納率向上を図るために、滞納処分を適切に実施するとともに、納税環境の整備を促進します。
- ・1人当たり医療費は毎年増加傾向にありますが、医療費適正化事業を実施することにより、医療費の伸びを抑えます。
- ・滞納者への督促等に努めることで収納率向上を図ります。
- ・介護予防推進、自立支援型ケアマネジメントの推進、適正なサービス利用・提供等により、給付額の伸びを抑制します。
- ・一般会計繰出基準に基づく基準外繰出金の解消はもとより、経営の効率化を行うことで基準内繰出金についても抑制を図ります。

7-3 戦略的な情報発信

担当課:総務課

■施策の指標・方向性

【めざす姿】

行政情報が適正に町民に伝わり、町民の意見を聴く機会が確保されて行政情報が共有されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
必要な町政情報を得ることができていると思う人の割合	95.0%

【指標の方向性】

多様な媒体や機会を通じて、行政情報などの発信を行うとともに、町民の意見を積極的に聴き、町民との情報共有を促進します。

■基本事業の取組方針

基本事業 7-3-1 広報活動の充実

【めざす姿】

主力媒体である「広報ひじ」「町 HP」の充実と併せ、マスメディアやSNS、スマートフォンアプリなども活用しながら、様々な方法で情報を発信できている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
「広報ひじ」読者アンケートの全体満足度（5段階評価）	100%
1日当りの町HP閲覧数(年間)	3,500pv
町公式 SNS のフォロワー数	10,000 人

【指標の方向性】

- ・読者アンケートをもとに「広報ひじ」の掲載内容の充実を図ります。
- ・掲載内容の充実、アクセシビリティの改善、HP からの行政手続きの電子申請サービス等の充実を図ることにより目標達成を図ります。
- ・多様な媒体や機会を通じて、行政情報や町の魅力を発信し町民との情報共有を図ります。

【令和 7 年度 主要実施事業】

事務事業名	区分	R7 予算額
文書広報費	拡充	14,782千円

基本事業 7-3-2 広聴活動の充実

【めざす姿】

様々な方法によって町民が意見を伝える機会が確保され、町民の意見が町政に反映されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
町 HP「問い合わせフォーム」による意見投稿数(年間)	300 件
行政懇談会の開催数(年間)	3 回
町政モニターを活用し意見募集した件数(年間)	5 件

【指標の方向性】

- ・町 HP や意見箱、広報誌等を活用し、町民が町政に関していつでも意見を出せるよう環境整備を図ります。
- ・地域や団体との懇談会、各種計画策定時のワーキンググループ開催等を通じて町政への町民意見の反映を図ります。
- ・町政モニター制度を有効に活用し町民意見を町政に反映していきます。

基本事業 7-3-3 戦略的なタウンプロモーションの推進 **優先**

【めざす姿】

町民や関係組織との連携により、本町の多彩なプロモーション活動が取り組まれている。また、ターゲットを明確に想定した戦略に基づき、「まちのいろ」(町の魅力)を効果的に PR していくための事業が展開されている。

【指標と目標値】

指標名	R7 目標値
ハッシュタグ「#日出町」が付いた SNS での投稿数 (Instagram、Twitter)(累計)	50,000 件
町の魅力を掘り下げブラッシュアップするためのセミナー開催数(累計)	5 回

【指標の方向性】

- ・ハッシュタグ「#日出町」を付け SNS に投稿するという行為は「日出町のことを誰かに知ってもらいたい」という投稿者の意思(地域推奨意欲)の表れであり、これを増やしていくことを1つの目標として各種プロモーション事業に取り組みます。
- ・戦略的なタウンプロモーションを実施していくために、町民等を対象としたセミナーを開催し、町の魅力のブラッシュアップに取り組んでいきます。